



イナ・ヴォイスとIINC(ネットクラブ)事業活動終了

いきがい大学伊奈学園

閉校は痛恨の極み



岡村昭則

いきがい大学伊奈学園閉校は痛恨の極みなり

思い起こせば、募集要項の「平成21年度学習のしおり」の「いきがい大学設置運営規程に高齢者に対する学習機会を提供し、広く仲間作りを行いながら、心身の健康や社会参加によるいきがいを高め、併せて地域活動の推進のために必要な人材の育成を図ることを目的として大学を設置する」と書かれていました。応募するにはレポートの審査があり提出することが入学の判断基準となっています。以下、私の応募レポート

伊奈学園一年専科「郷土を知るコース」応募レポート 岡村昭則

「さいたま市シニアユニバーシティ校友会の自主学習を埼玉県立歴史と民俗の博物館で行った。その時の郷土資料室を我々に案内してくれたのは、ボランティアとして活動している校友会の先輩だった。先輩の目の輝きと自信にあふれた語りには惹かれるものがあり、自分も勉強してボランティアガイドになり、更に郷土の歴史を深く知りたいと思ったのは昨年10月のことであった。」と書いて送った。3月31日に入学決定通知書が届いた。

ここに目出度く、私は二年制のいきがい大学伊奈学園に新たな設置された名誉ある専科一期生として入学した。自分も歴史に関するボランティア活動を目指して入学したのに教科を見ると殆ど一般教養であることから失望したことは言うまでもない。入学して初めて知ったのは、自治会役員と共にイナヴォイス委員とホームページ委員を決めることになっている。二つとも先輩たちが来て説明してくれたので、大学の設置目的に沿って、ボランティア活動に取り組む協議会のような組織があることや、HPを立ち上げて自治会活動やボランティア活動の報告等をHPに掲載して会員に知らせて行く組織があることを知った。そのころパソコンを習い出しやっとな軌道に乗りだしたばかりなので、ホームページで皆さんをサポートすることに決めてしてホームページ委員になった。

それから、専科1期のHP立上げまでは、いろいろ苦勞もしたが無事に専科1期HPを管理できるようになり、また、自分のHP「わが青春」も立ち上げてから、今日まで10年余に渡って専科1期の会の広報担当として裏から支えてきた。有難くも専科1期はHPを中心にしてまとまって来たところがあり、現在でも一番長く校友会活動を続けられている。その輝きのベースなるものは、当時の伊奈学園所長の氏家健也さんと、伊奈ネットクラブやイナヴォイスで活躍してきた鈴木進さんとの出会いがあったからこそである。

氏家健也所長の大学の設置目的を定着させるべくイナ・ヴォイスの取組に力を入れていたことから、専科1期からもボランティア団体として「手話ダンス同好会」、「太極拳クラブはくつるの会」がイナ・ヴォイスに登録して各方面の施設訪問して活躍してきたことは言うまでもない。また、伊奈ネットクラブ責任者であり、イナ・ヴォイスで活躍してきた鈴木進さんとの出会いによって、専科1期生のHPでは、在校生中はどれほどお世話になった計り知れないものがある。鈴木さんのサポートで2年目から自分たちのHPを曲がりなりに立上げて今日に至っている。

しかしながら令和2年3月、いきがい大学伊奈学園の閉校に伴って、残念ながらイナ・ヴォイス事業活動終了、伊奈いきがいネットクラブも令和3年6月でホームページ閉鎖に追い込まれてしまった。この事態を現在でもHPを管理しているものとしてショックが余りにも大きすぎる。専科1期の会のクラブによるボランティア活動も、コロナ感染防止観点から施設の訪問もままならず、令和2年2月18日（りふれ宮原）を訪問して打ち切りになり、会員の高齢化から解散へ追い込まれてしまった。専科1期のボランティア団体とイナヴォイスの関係、専科1期HPを顧みて専科1期の踏み跡として残すことにした。

彩の国いきがい大学設置運営規程

この規程は平成14年4月1日から施行する

(目的)

第1条 この規程は、彩の国いきがい大学（以下「大学」という。）の設置運営について必要な事項を定めることを目的とする。

(設置)

第2条 財団法人いきいき埼玉（以下「財団」という。）は、高齢者に対する学習機会を提供し、広く仲間づくりを行いながら、心身の健康や社会参加によるいきがいを高め、併せて地域活動の推進のために必要な人材の育成を図ることを目的として大学を設置する。

(名称等)

第3条 大学の学園の名称、課程、修業年限、定員及び位置は、次のとおりとする。

名 称	課 程	修業年限	定 員	位 置
熊 谷 学 園	一年制課程	1 年	130名	熊 谷 市
川 越 学 園	一年制課程	1 年	130名	川 越 市
鷺 宮 学 園	一年制課程	1 年	130名	北葛飾郡鷺宮町
蕨 学 園	一年制課程	1 年	130名	蕨 市
春日部学 園	一年制課程	1 年	130名	春日部 市
入 間 学 園	一年制課程	1 年	130名	入 間 市
東 松 山 学 園 【専科コース】	一年制課程	1 年	90名	東 松 山 市
伊 奈 学 園 【専科コース】	一年制課程	1 年	120名	北足立郡伊奈町
東 松 山 学 園	二年制課程	2 年	各学年 115名	東 松 山 市
伊 奈 学 園	二年制課程	2 年	各学年 130名	北足立郡伊奈町

(学長等)

第4条 大学に学長、副学長及び事務長を置く。

2 学長は、理事長が埼玉県知事の職にあるものに委嘱する。

3 副学長は、理事長の職にあるものをもって充てる。

4 事務長は、高齢者いきがい支援センター所長の職にあるものをもって充てる。

(学長等の職務)

第5条 学長は、大学を代表する。

2 副学長は、学長を補佐するとともに、学長に事故があるときはその職務を代理し、学長が欠けたときはその職務を行う。

3 事務長は、学長及び副学長を補佐し、業務を処理する。

(入学資格)

第6条 大学に入学できる者は、県内に住所を有する60歳以上の通学可能な者とする。

ただし、次の各号の一に該当するときは、入学することができない。

(1) 一年制課程については、過去に彩の国いきがい大学（埼玉県老人大学校）を卒業したことのある者。

(2) 一年制課程【専科コース】及び二年制課程については、過去に二年制課程を卒業したことのある者。



イナ・ヴォイス委員会

上へ

理事会

ホームページ委員会

イナ・ヴォイス委員会

在学中(21年度6月～3月)から「いきがい大学伊奈学園ボランティア情報センター(略称イナヴォイス)」運営委員として活動されている方々を紹介します。

イナヴォイス運営委員と協働して、卒業生・在校生のボランティア活動や自身で実施するボランティア活動などの情報を収集し、校友会会員にその情報を提供するのが主な任務です。任期は卒業後2年です。平成24年3月末日をもって任務は終了。**三年間お疲れ様でした。**

コース	氏名	
健康づくり	大友 武	
	原井 克之	校友会理事
郷土を知る	有村 弘	
	吉野 利美子	校友会理事
まちづくり	伊藤 登	
	玉置 貞明	校友会理事

第2回ボランティア活動発表会・専科一期生の活動発表状況

H23. 10. 21



イナヴォイス発表会の司会を担当する吉野さん



彩央会の活動状況を発表する有村さん



手話ダンス同好会の皆さんに「手話ダンス」発表



『 イナ・ヴォイス事業活動終了のお知らせ 』

令和2年10月5日

(イナ・ヴォイス登録団体・関係先) 様

伊奈学園ボランティア情報センター(通称イナ・ヴォイス)

代表 橋本 九二男

090-7729-1711

イナ・ヴォイス事業活動終了のお知らせ

関係の皆様におかれましては、イナ・ヴォイス事業活動にご支援ご協力をいただきありがとうございます。現在、イナ・ヴォイスには45のボランティア団体が登録されており、令和元年度の施設等におけるボランティア活動実績は、アンケート調査の結果延べ337件でした。

さて、本年3月に彩の国いきがい大学伊奈学園は、埼玉未来大学に代わりました。このため学園学生自治会及び伊奈学園校友会の継続性が切れ、「イナ・ヴォイス運営委員の定員補充体制」もなくなり、本年度の運営委員数は前年度36名から半数以下に減少し、来年も更にその半数の見込みとなっています。このイナ・ヴォイス運営上の深刻な事態に対して、年間行事の見直しや業務簡素化を行うなど、組織の維持・継続に努めてきましたが、新たに新型コロナウイルス感染症による問題が発生しました。

新型コロナウイルス感染予防対策の影響は、経済に止まらず、文化、福祉、教育での「三密とクラスター対策」は、ボランティア交流活動の自粛化にもおよぶこととなり、イナ・ヴォイスの登録団体でも多くが活動休止の状態になり、さらに自粛の広がりにはイナ・ヴォイス事業においても、会議の欠席者や退会者が相次ぎ、委員12名のうち会議出席者は5名ほどになっています。

こうした事態を踏まえ、8月の幹事会で「イナ・ヴォイスの事業継続の是非と事業移管先」について総合的に検討の結果、イナ・ヴォイスの「情報センター機能と登録ボランティア団体への支援の役割」は、「彩の国市民活動サポートセンター※」に移管し、これまで毎年発行してきた「ボランティア活動団体名簿」は、本年度「最終保存版」として取りまとめ、関係施設等に送付するのが最善策との結論に至りました。

なお、同サポートセンターへの移管の事前協議で特に問題はありませんので、今後の手続き等について確認の予定です。また、伊奈学園校友会(伊奈連協役員)には事前に説明を行いました。

以上の経緯をまとめ、9月運営委員会にてイナ・ヴォイス事業は、本年度末までに上記の市民活動サポートセンターへ移管し、解散することを決定しました。

つきましては、イナ・ヴォイス終了について、何卒ご理解のほどお願い申し上げますとともに、長らくご支援・ご協力頂きました皆様に、篤く御礼を申し上げます。

※(公益財団)いきいき埼玉・彩の国市民活動サポートセンターは埼玉県県民活動総合センター内(2F 図書室事務所内 048-728-7146 月曜休み)にあります。

INVOICE

いきがい大学伊奈学園ボランティア情報センター

伊奈学園

伊奈連絡

掲載記事リスト

令和2年

令和元年の活動紹介

平成30年の活動紹介

平成29年の活動紹介

活動紹介

アーカイブ

ボランティア発表会

the Voice事務局情報

伊奈学園卒業生・在校生のボランティア活動は多岐にわたっています。

期を超えて協力しあってボランティア活動しています。

地域に根ざして社会参加活動を活発に展開しているグループ、その一端を紹介します。

彩の国いきがい大学 伊奈学園 ボランティア情報センター(イナ・ヴォイス)

絶やさないボランティアの火を
ボランティアの火を永遠に
継続は生きがいなり！！



[ボランティア活動団体紹介\(こちらをクリック\)](#)

分野	ボランティア登録団体	地域の活動団体 (団体名をクリックで訪問可)	
0	問い合わせ先(ボランティア等の依頼)	いせ位い愛の会	上尾・伊奈在住の在校生とOBの会
1	介護・福祉・健康 (R0107部)	まごにえ会	蓮田・白岡・伊奈周辺在住のOB会
2	絵画・絵手紙・手芸・陶芸 (R0107部)	夏部OB会	春日部・久喜・宮代等東京都地区在住のOB会
3	民話・講話 (R0107部)	伊奈さいたま会	さいたま市・川口市・戸田市・蕨市在住のOB会
4	絵巻・人形劇・紙芝居・マジック (R0107部)	彩光会	桶川・北本以北在住のOB会
5	音楽・歌謡・楽器演奏 (R0107部)	いせ位いフェス会	警宮地区及び県北東地区のOB会
6	ダンス日本舞踊 (R0107部)		
7	健康維持・スポーツ (R0107部)		
8	環境保全・園芸支援 (R0107部)		
9	IT技術・ビデオ撮影 (R0107部)		
10	郷土史 (R0107部)		
11	その他 (R0107部)		

ボランティア活動ニュース新着情報

R01.12.18	令和元年 第2回公開学習の活動報告 (R01)
R01.12.18	FFKよさこいソーラン公開学習事例発表(給・大宮リノックスティ) (R01)
R01.12.07	ボランティアニュース52号を発行 (R01)
R01.09.25	「第10回ボランティア活動発表会」のポスター
R01.07.12	「ハーモニカクラブ」DL3活動報告
R01.07.12	ボランティアニュース51号を発行
R01.07.03	第10回ボランティア活動発表会のポスター回覧を再集します<終了>
R01.06.08	FFKよさこいソーランあずみ夏期間の活動報告
H31.02.04	手芸「さくらの会」活動報告
H31.01.17	手芸「さくらの会」活動報告
H30.10.08	「りんりんの会」上尾市記念式典で受賞の活動報告
H30.12.22	FFKよさこいソーランみくろの社訪問の活動報告
H30.12.01	ボランティアニュース50号を発行
H30.11.18	「新の国いせいフェスティバル」活動報告
H30.10.21	FFKよさこいソーラン上尾市主催全埼玉式舞台のモンパ出演

20年までの記事は、こちらをご覧ください。

ボランティア活動団体		伊奈ボランティア ニュース (イナヴォイスニュース)		
ボランティア活動団体名簿 (H2907版) 				
参考	旧い記事などのリスト	NO52号 NO51号 NO 50号 NO 49号 NO 48号 NO 47号 NO 46号 NO 45号 NO 44号 NO 43号 NO 42号 NO 41号 NO 40号 NO 39号 NO 38号 NO 37号	NO 36号 NO 35号 NO 34号 NO 33号 NO 32号 NO 31号 NO 30号 NO 29号 NO 28号 NO 27号 NO 26号 NO 25号 NO 24号 NO 23号 NO 22号 NO 21号 NO 20号 NO 19号	NO 18号 NO 17号 NO 16号 NO 15号 NO 14号 NO 13号 特集号 NO.12号 NO.11号 NO.10号 NO.9号 NO.8号 NO.7号 NO.6号 NO.5号 NO.4号 NO.3号 NO.2号 NO. 1号

イナヴォイス設立平成14年11月26日

イナヴォイスは、いきがい大学伊奈学園の卒業生(在校生)のボランティア活動を、側面から支援するシステムとして、平成14年11月26日に設立されました。

皆様の参加をお待ちしています。

〔活動内容〕

- * 活動人員の減少への対応(新メンバーの募集)
- * 登録されている方へ活動の場の提供
- * ボランティア希望者の活動先の発掘
- * 施設等への活動希望者の紹介
- * ボランティア活動に関する情報の中継機能

参加を希望される個人またはグループから、メンバー登録カードが提出されると登録させていただき、上記内容のサポートをします。

問合せ先

イナヴォイス事務局

(いきがい大学伊奈学園事務所内)

電話:048-728-2299

かわらばん イナ・ヴォイス

発行 平成15年3月 No.1
伊奈学園ボランティア情報センター
〒382-0801
伊奈町小針内宿 1800
Tel 048-728-2299
Fax 048-728-2123

絵手紙ボランティアの仲間を募集

一人暮らしの高齢者に季節に合わせた絵手紙を送る、ボランティア活動の仲間を募集しています。

この「まごころ絵手紙」は、11期生の課題学習をきっかけに、平成13年6月にスタートしました。

以来、さいたま市の老人福祉施設に絵手紙を送るボランティア活動を続けています。独居老人などの宅配食事サービスに、この絵手紙が添えられています。現在のメンバーは10数名です。

卒業年次は問いません。1枚でも多くの絵手紙を提供したいと思えます。在校生の方の参加も大歓迎です。

問合せ先 彩の国いきがい大学伊奈学園内
「絵手紙ボランティア」係
伊奈町小針内宿 1800
電話:048-728-2299

絵画ボランティア活動の仲間を募集

九軌会(9期生絵画クラブ)は、絵画ボランティア活動に協力して下さる仲間を募集中です。卒業年次は問いません。積極的の参加をお待ちしています。

老人福祉施設入所者の水彩画指導(久喜・鶴寿荘)や、作品の展示(蓮田・吾亦紅)のボランティア活動を行っています。

【水彩画指導】 第2,4水曜日 午後
特別養護老人ホーム「鶴寿荘」

また絵画制作を、下記の内容で行っています。

【絵画制作】 第1, 第3, 第5金曜日
午前9時半から12時まで、
県民活動センター絵画初作室
講師: 小高 博 先生

問合せ先 北詰 次男
蓮田市馬込 1439-5
電話:048-768-0517

パンフレット等の制作を支援

文書制作奉仕集団グラフィナ(伊奈10パソコンクラブの内部組織)は、各種パンフレット、通知状、名刺、葉書、プログラム、広報紙、会報、ポスター等の制作(立案から原稿作成まで)を、お手伝いします。

問合せ先 浅倉 登
川口市上青木 4-1-27
電話:048-252-2879

イナヴォイスのPRパンフレットは、グラフィナによって作成された作品です。(事務局)

イナヴォイスについて (お知らせ)

イナヴォイスは、いきがい大学伊奈学園の卒業生(在校生)のボランティア活動を、新聞から支援するシステムとして、平成14年11月26日に設立されました。

積極的の参加をお待ちしています。

【活動内容】

- * 活動人員の減少への対応(新メンバーの募集)
- * 登録されている方へ活動の場の提供
- * ボランティア希望者の活動先の発掘
- * 施設等への活動希望者の紹介
- * ボランティア活動に関する情報の中継機能

参加を希望される個人またはグループから、メンバー登録カードが提出されると登録させていただき、上記内容のサポートをします。

問合せ先 イナヴォイス事務局
(いきがい大学伊奈学園事務所内)
電話:048-728-2299

実質的イナヴォイスニュース 初号/1号

学園プロフィール

上へ

所長挨拶

彩の国いきがい大学伊奈

学生募集案内

カンファラム

キャンパスライフ

グループ学習

案内地図

ホーム

学園プロフィール

OBの活動

Profile 彩の国 いきがい大学伊奈学園



明日へ向けて、第一歩を

☆ゴールデンエージを輝いて生きるために☆

高齢者の皆様

人生のゴールデンエージ(黄金期)を迎えて、やっと手に入れた貴重な時間をいかがお過ごしですか？趣味、読書、旅行、ボランティア、人様々でしょうが…『いつまでも元気で、持てる気力・知力・体力を家庭や社会のために生かし、いきがいを持って、キラリと光るゴールデンエージを過ごしたい。』それが高齢者共通の願い。社会もそれを期待しています。

そのような時代の要請に応え、いきがい大学伊奈学園では、高齢者に学習機会をご提供し、仲間づくりと社会参加の人づくりのお手伝いをしています。当学園で「新しい仲間と出会い、共に学び、共に遊び、社会参加への道を自ら見出す喜び」を味わって見ませんか？『いきがいと共感をいつまでも』それが学園カラーです。私達は、皆様の社会参加のための準備運動のお役に立ちたいと願っています。

さあ、絆を脱いで、ご一緒に明日へ向けて、第一歩を踏み出しましょう。

この学園案内のページが、皆様の新しい旅への「カーナビ」として、少しでもお役に立てば幸いです。



学園紹介

学園生活

学生募集案内

ボランティア活動

交通案内

ホーム

学園プロフィール

OBの活動

彩の国 いきがい大学 伊奈学園

【学園からのお知らせ】

● 彩の国いきがい大学伊奈学園は閉校しました。(令和2年3月)

卒業生の地域活動団体

学園関連サイト

地区活動団体

◆いきがい愛の会

◆東部OB会

◆伊奈さいたま会

◆彩央会

◆まろにえ会

◆いきがいロスモス会

校友会連絡協議会(伊奈連絡)

INVOICE(イナボイスの情報センター)

IINC(伊奈いきがいネットワーク)

埼玉県明るい長寿社会づくり推進機構(いきがい大学公開学習・情報誌あぶらぐ・高齢者創作展・IT/パソコン講座等)

県民活動総合センター (センター利用案内、宿泊、施設予約、講座・講演・コンサート案内・予約等)

OBの活動紹介「各期の活動・クラブ活動・発表会・作品展・会員募集などのご案内」

●平成2年4月開設した伊奈学園は令和2年3月をもって閉校しました。

●私達が入学する前年度に着任した氏家所長は、

イナ・ヴォイスニュース17号(平成20年5月)、着任メッセージとして「**イナ・ヴォイスの運営は私の仕事の一つです。本会は「絶やすなボランティアの火を ボランティアの火を永遠に」**をキャッチフレーズに、**実務を現役生直近の二つの期の委員が担当、校友のボランティア活動支援がメイン事業**です。にも拘らず本会は校友会連絡協議会の組織外に位置づけられています。このことは過去にも検討されているようですが、未だに明確な結論は出されていないとのこと。同じような事業が別々に進められていても情報集約・提供に好い効果は得られないと思います。校友ボランティアと支援先が、ともに利用し易いイナ・ヴォイスは「どうあるべきか」を課題とし、その解決に向けて議論・実践して行くべきと考えます。校友各位のご支援・ご協力をお願いいたします。」

●**イナ・ヴォイスニュース18号(平成20年10月)**、

氏家所長の伊奈学園だより

イナ・ヴォイスへの積極的登録と地域活動への取り組み姿勢を主張しよう！

「募集要項にあるように、卒業後、地域活動に参加しているのか？」と疑問を發する外部から見ると、「イナ・ヴォイス」の登録件数が全てです。ボランティア活動は、秘めやかに、地道に行うことが美德である、という価値観は、伊奈学園に学んだ方々には捨てていただきたい。積極的に「イナ・ヴォイス」に登録し、地域活動に取り組んでいる姿を主張することが、声を封じることになります。とはいえ、登録内容に、実績、活動範囲、経費等のきめ細やかな記載の必要性の検討や、運営組織のあり方についても検討の必要があると考えています。

また、学園としては、平成21年度から「イナ・ヴォイス」の① 意義 ② 推薦を受けた団体等の講座を設けるなど、関心を高め、登録意欲を促進する方策を講じたい、と考えており、ご支援をよろしくお願いいたします。

●**イナ・ヴォイスニュース19号(平成21年1月)**

氏家所長が自ら講師として在校生に講義を行

いました。「イナ・ヴォイス」へのご理解・ご

協力を！一目的、組織、活動を在校生に講義—

世界的な経済・金融不況や痛ましい殺人事件の

多発など暗いニュースが目立つ厳しい世相の

新年を迎えました。イナ・ヴォイス運営委員は

3月で16期生が引退、17期生に18期生(8名)

と一年生課程からもメンバーが加わる予定で、

全委員一丸となってイナ・ヴォイスのさらなる充実と発展をはかっていきたいと考えてい

ます。その一環として、イナ・ヴォイスの目的や組織、運営、活動等について理解を深め

ていただこうと、1月に在校の19期生、18期生に対して、イナ・ヴォイスメンバーが講

義を行ないました。平成21年度から伊奈学園に新規3専科コースの一年生課程が設置され

ることもあり、今後正規の講座としてこうした講義が位置づけられる予定です。同じ志を

持つ仲間が情報を共有化し活発な相互協力支援のできる素地を醸成するために必須である

と考えます。イナ・ヴォイスは、微力ではありますが、これからも皆様のお手伝いをさせ



ていただきますので、ご理解とご協力をよろしく申し上げます。

★イナ・ヴォイス<正式名称>伊奈学園ボランティア情報センター<設立>平成14年11月

★<目的>伊奈学園の在校生および校友会会員でボランティア活動をしたい個人、団体とボランティアを待っている方々の橋渡し役をしています。<登録>現在57団体約700人が登録<メンバー構成>卒業期の各科から2名ずつ計8名と前年度の8名を加え16名で活動

【所長の学園だより】新しく設置足される一年制専科科コースの募集についても、変革の時代の「いきがい大学」という題名で、「平成21年度の伊奈学園の第20期生の募集が2月1日から始まったこと、また、新たに一年制課程の専科コースの募集が加わっていることにも気づかれたと思います。このコースは、一年間で卒業後の地域活動に入るノウハウを会得することを目的として、二年制の学園に新たに設置するものです。この新たな一年制課程の設置は今後の「いきがい大学」の方向を示しており、「校友会」や「イナ・ヴォイス」のあり方にも大きく影響を与えることとなります。すでに、「イナ・ヴォイス運営会議」は、新年度から新一年制課程の学園生を含めた組織として運営し、同じ学園に学ぶ者同士が協力し発展を図ることとしており、入学を待つばかりとなりました。

●伊奈ボランティアニュース20号(平成21年7月)、

イナ・ヴォイス20号の船出 —伊奈学園事務所長氏家健也—

このニュース「20号」をご覧の皆様、平成21年度の「いきがい大学」は大きな変革の年を船出しました。一年制課程の専科コースを二年制学園に併設したことに伴い、従来の仕組みが大きく変わります。

一つ目は、ホームページの運営。二年制の場合、従来、1年生の3学期からスタート。本年度は専科コースにあわせ、秋には本格スタート。二つ目は、「イナ・ヴォイス」の運営。従来、卒業時に参加していたが、二年制も専科コースにあわせ、1年生の秋から本格的に活動すること。この体制を確立することは、取材要員の確保につながり、「イナ・ヴォイス」が目指す地域に密着した情報の発信として、地域で活動している方々や地区団体の生の姿・声をホームページやニュースに反映することが可能となる。

現役生はもちろん、各校友会の皆様にもぜひとも「イナ・ヴォイス」をご支援いただき、彩の国いきがい大学伊奈学園の存在と価値感を誇示して頂くようお願いいたします。

●伊奈ボランティアニュース21号(平成21年12月)

「イナ・ヴォイス・フ

ェスティバル」を2月

に開催予定 乞ご

期待

いきがい大学伊奈
学園ボランティア情

報センターへの登録団体・個人の活動は、各地域において、それぞれの分野で活発に展開され、また団体・個人の登録数もお陰をもちまして増加の傾向にあり、ボランティア志向



の機運が高まり、イナヴォイスへの理解が深められてきていり証であると感謝申し上げます。この9月からスタートした卒業生・在校生による運営委員の協働体制も順調な滑り出しを見せ、今後の活動が期待されているところです。

眼を全国に転じますと、財団・長寿社会開発センターを初めさまざまな団体、組織がボランティア活動を行っており、イナ・ヴォイスとしてもこの流れに呼応連携してさらに充実を図るため、登録団体・個人のボランティア活動発表会を来春2月5日に開催することに致しました。目下実行計画、準備を進めているところです。皆様方の協賛とご参加を頂きたくよろしくお願い申し上げます。平成21年度イナ・ヴォイス運営委員一同です。よろしくお願い致します。(写真に専科1期生のイナ・ヴォイス委員も参加しています。)

伊奈 ボランティア ニュース 21号に寄せて

—学園祭盛り上がりの更なる結末— 伊奈学園 所長 氏家 健也

伊奈学園のOBの皆様、二年制課程と一年制課程・専科コース3学年合同の実行委員会による第20回「学園祭」をご覧になりましたか？舞台の広さを確保した上での開会式。3学年364名全員の座席はない。起立したままの、なんと壮観で熱気あふれた式典であったか想像してください。盛り上がりの予感。

「えっ」と思うような演技の連続。内容が、〈実際のボランティア活動で行っているもの〉とのアナウンスをたびたびお聞きし、驚きの連続。そこで少し気になる。わが伊奈学園ボランティア情報センター(以下、「イナ・ヴォイス」という)への登録はどうなっているのか、と。学園としては、本年度から各学年で①「イナ・ヴォイス」への現役時からの参加(No.20のニュースで案内)②「イナ・ヴォイスの意義等」についての講義、さらに登録団体による「活動のきっかけと実演」の授業等、様々な手法により「イナ・ヴォイス」が身近な存在として、理解また協力が得られるよう工夫を重ねているが、道半ばと考えている。登録が全てではないが、学園関係者の意識の底に「イナ・ヴォイス」が常に存在し、活動の情報源となって頂けるよう、諸兄の新たな提案と決断をお待ちしたい。

●伊奈ボランティアニュース22号(平成22年4月)

新年度代表交代挨拶

21年度を担当した17期生8名は、各人固有のスキルや個性をうまく組み合わせて活動、在校生へイナ・ヴォイス活動の授業や、イナ・ヴォイス委員への委嘱を通し、ボランティア活動の意義と実践の学習に努めました。学園と共催で、「第1回ボランティア活動発表会」を開催することができました。取材活動にも力点をおき、「登録団体・個人の活動紹介」冊子を作成し、社協等関係団体へPR訪問・配布しました。結果、仲介件数も前年を上回る成果をあげることができました。

ご支援に感謝いたしますとともに、今後は、全員顧問として側面からイナ・ヴォイスを応援してゆきますので、引き続きイナ・ヴォイスへのご声援を賜われますようお願い申し上げます。17期イナ・ヴォイス委員一同(代表 地域創造科 鈴木 進)

第1回ボランティア活動発表会の先にあるもの

伊奈学園所長氏家健也

10月22日、伊奈学園校友会連絡協議会・伊奈学園ボランティア情報センター・伊奈学園の3者が力を合わせて実施した第1回ボランティア活動発表会は、在校生に先輩方の地域での活動を見学し、卒業後のあるべき姿を見つめていただくことを目的として実施したものである。現役生から「先輩方の継続した活動に感激した。自分たちも真剣に向き合えば」との声を直接お聞きし、この発表会の意義が理解された、との思いを抱いている。

今回の発表会は、伊奈連協、イナ・ヴォイスの実行委員の方々の緻密な計画と連携により、成功を得たものであり、紙面をお借りし感謝申し上げたい。

さて、平成23年度も、現役生による学園祭に引き続く「第2回の発表会」に向けて、3者で十分な検討を加え、より充実した発表会を実施していただけるものと確信している。そして、この発表会の未来には、伊奈連協とイナ・ヴォイスの両者の積極的な統合の議論の中で、力強いOBの社会活動の一元化が実現されると期待したい。

●伊奈ボランティアニュース24号(平成23年3月)

平成23年度 イナ・ヴォイス運営方針

イナ・ヴォイス代表 中山延雄

「絶やすなボランティアの火を」

「ボランティアの火を永遠に」「継続はいきがいなり」

昨年から続く世界各地の異常気象や自然災害のニュースに加えて、グローバルな政治・経済の動向等を見ますと、今年の景況もあまり明るくならないと思えません。しかし今年のイナ・ヴォイスは皆様のご協力・ご支援を賜りながら、卯年に因んでホップ、ステップ、ジャンプと爽快に明るく飛び跳ねる年にしたいと考えております。

以下に、平成23年度の運営方針を申し上げます。

1. 啓蒙活動を強化して、在校生の皆さんにイナ・ヴォイスが果している役割をしっかりと理解して頂くことを第一として、運営してまいります。事業の継続と発展のためには、富士山の裾野では有りませんがすそ野が広くがっしりと基盤が出来たイナ・ヴォイスでなければならぬと考えております。
2. 運営組織については、設立当初に比べると現在は在校生にも参加してもらうため3倍以上の人数となっており、組織の役割分担について見直す時期と判断します。運営規則も含め検証し改定して行きます。
3. ボランティア活動を「している、したい側」(供給側)と「受けたい側」(需要側)との間の斡旋仲介活動を強化します。これがイナ・ヴォイスの本業です。

この活動においては、各期校友会を傘下に持つ伊奈連協を通じて、校友会の各種クラブ等にコラボでの参加をお願いして参ります。



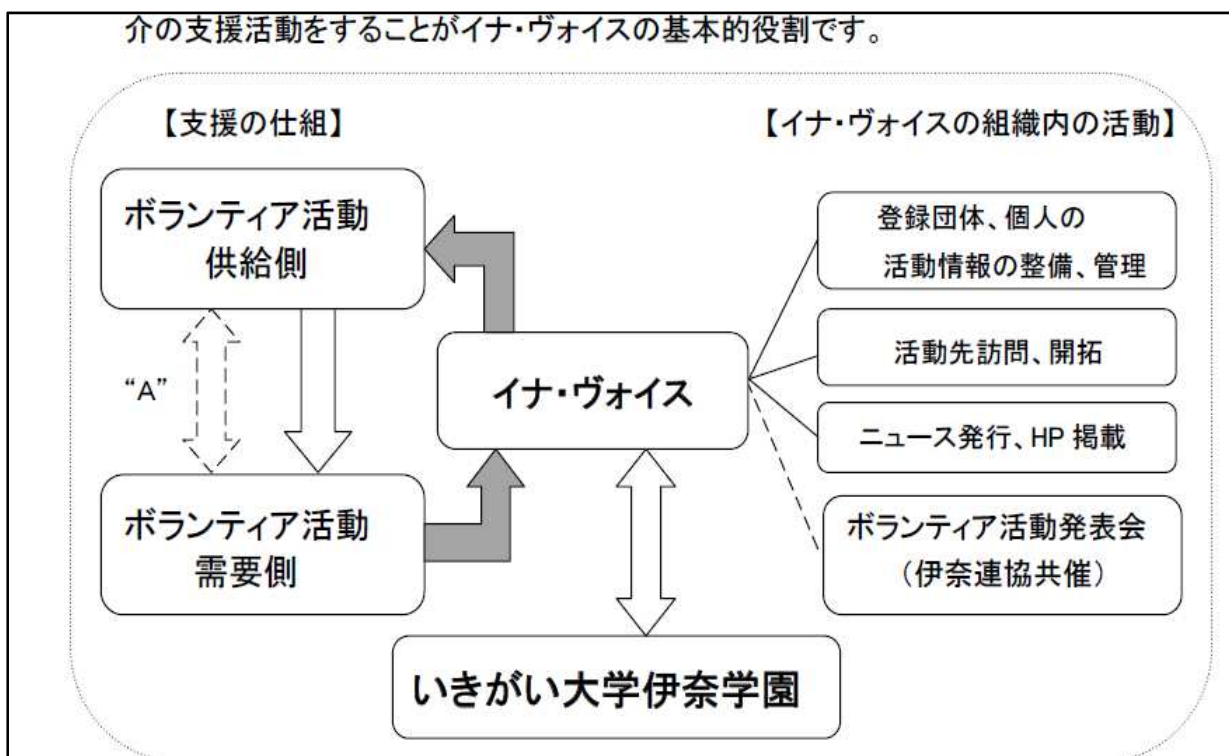
▲伊奈専科はくつるの会
「楊名時24式集団演武」

4. 社協などの公的機関や養護施設・保育園などを積極的に訪問してボランティア活動の需要先の開拓を図りながら、登録団体の斡旋・紹介を積極的に進めて参ります。5. 元々の地区団体及びイナ・ヴォイス登録団体の現況の再確認を行い、情報センターとして皆様からの要望に対してより効果的に応えて行きます。この確認作業は一昨年度下期に一通り実施したものの、イナ・ヴォイス登録団体の内容も変わって来ており、継続して更新して参ります。

6. 伊奈連協とイナ・ヴォイスとの関係については、昨年度の「ボランティア活動発表会」において大変好意的なご支援を頂きました。これからイナ・ヴォイスを運営して行く上で、イナ・ヴォイス運営委員会も強化されたことから、校友会と交流のウエイトをますます大きくする時期が来るものと感じております。

1. イナ・ヴォイスの役割は

いきがい大学を卒業後（在学中でもかまわないが）、多数のグループや個人でボランティア活動しており、その多くがイナ・ヴォイスに登録しています。このようにボランティア



活動をやりたい「供給側」と、ボランティア活動を受けたい「需要側」（養護施設や保育園など）との間に立って、お互いが喜びを感じられるように、側面から斡旋仲介の支援活動をするのがイナ・ヴォイスの基本的役割です。

(1) 伊奈学園の卒業生（在校生でもかまわないが）のボランティア活動を奨励して登録してもらい、それぞれの活動内容を冊子にまとめてまたはHPに掲載するなどして需要先に開示して、登録団体のボランティア活動PRに努める。(2) イナ・ヴォイスは図示のように、ボランティア活動の「需要側」の要望を受けて、「供給側」に斡旋仲介することが基本の業務である。

(3) 斡旋後の具体的訪問計画などについては、当事者間の合意にゆだねる。イナ・ヴォイスが仲介してつながりが出来た後は、双方がその後の予定などを直接相談して常連になっているケース（上図“A”）が多くみられるのは喜ばしいかぎりです。

2. イナ・ヴォイスの機能は

イナ・ヴォイスの組織委員は、①伊奈学園の前年度卒業生委員が中核として各事業の企画立案方針決定を行い、②当年卒業生委員を実務部隊として、③在校生委員をサポート部隊と位置付けて構成されています。

(イ) 伊奈学園卒業生による登録団体に対してはボランティア活動を奨励し、(ロ) 外部需要先(社協や、養護施設、保育園など)に対してはPR活動を行い、(ハ) そこからの紹介依頼に対応して該当する登録団体に照会する、などの事業を行なっています。

これらの事業を行うために、全委員は下の(3)～(5)のいずれかの部門に所属してその任にあたっています。

1) 各部門の機能と行動内容

(1) 代表(前年度卒業生)：全体を総括する。

(2) 副代表(当年度卒業生と次年度卒業生より各1名)：代表を補佐する。

(3) 広報部：ボランティア供給側、需要側に対する情報を発信する。

①各登録団体の活動内容をPRする冊子の編纂・発行。

②卒業生・在校生への情報発信(ニュース発行/年3回、HP掲載)。

③ボランティア活動等の取材活動とその開示。

(4) 管理部：登録団体、個人の活動内容データの定期実態調査、更新とその開示。

①地域関係先訪問の活動データのまとめ。

②啓蒙、啓発活動(目標を持った意識調査の継続)

(5) 事務局：イナ・ヴォイス内の情報共有化の促進。

①運営委員会の運営、議事録、規定整備、年間計画等。

②会計、予算、発行印刷物の発送等。

(6) 各部門に長を置き、運営委員は全員がいずれかの部署に籍をおく。

2) 会議等

(1) 役員会と運営委員会はそれぞれ月1回ずつ開催している。

現在役員会は第二金曜日、運営委員会は第四金曜日開催している。

(2) 役員会は、代表、副代表、前年度、当年度を卒業した運営委員で構成され、運営委員会への提案内容を審議する。

(3) 運営委員会は、役員会委員、在校生委員に加え、伊奈連協から社会活動部長、伊奈学園から所長と課長とが出席し、三位一体の委員会となっている。

以上のような人員構成に基づいて組織を構成し、会議運営を行い、諸事業を推進することで、イナ・ヴォイス運営の一元化が図られていると考えます。

●伊奈ボランティアニュース25号(平成23年5月)

イナ・ヴォイスは登録団体の活動支援を強化します

イナ・ヴォイス代表 中山延雄

イナ・ヴォイスが結成され10年を経過、この間諸先輩がこの組織に対し、様々な知恵を出され、行動されて来たことは現在ボランティア活動されている団体・個人の登録数が66に上っていることをみれば明らかです。しかしながら、イナ・ヴォイスの認知度は一部の関係施設等と伊奈学園内という限られた範囲内ではないのではないかと感じております。したがって、ボランティア活動を必要とする諸施設等の需要先と密接な関係を作って

行くことがイナ・ヴォイスの存在を、また登録団体の活動範囲を更に広めるために特に重要ではないかと考えまして、従来の管理、広報、事務部門の他に、今年度は新たに「活動支援部」を設けました。この新組織を軸に、登録団体・個人の活動を外部の需要先に知らしめるよう支援して行きたいと考えております。

3年という時間の中で

寄稿：伊奈学園事務所 前所長 氏家健也

3月11日に発生した「東日本大震災」の拡大する悲惨な状況が日々明らかになっていく中、3月31日付けで伊奈学園事務所所長を退任いたしました。この間、卒業生の皆様の「母校をよりよく発展させたい」との思いを支えとして仕事に取り組むことができました。感謝に堪えません。

一年制課程【専科コース】併設した時、皆様が応募者の勧誘活動に尽力頂き、スムーズにスタートが出来たこと、また、学園祭に引き続いて実施した「ボランティア活動発表会」による在校生への大いなる刺激、等々、学園の価値は実に卒業生が決めていることを実感させていただきました。これらのご支援とご協力をいただいてこそこの学園です。

皆様には、今後ともご健勝にて一層の青春を謳歌されることを祈りつつ、御礼のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



いきがい大学伊奈学園に着任して

寄稿：伊奈学園事務所新 所長 渡辺春男

着任の20日前、世情では1000年に一度と言われておりますM9.0の東日本大震災、地震と津波、そして原発破壊と二重、三重の災害により、多数の被災者が避難生活を余儀なくされております。改めてお見舞い申し上げます

さて、氏家前所長がイナ・ヴォイスに対し、特に熱い思いで在任中取り組まれた経過を知るにつけ、その方向を継承しさらに発展させたいと考えております。

氏家所長が取り組まれた事柄の中で特に、イナ・ヴォイスと校友会連絡協議会との交流を図って横の連携が強化されたこと、又現役生もイナ・ヴォイス委員に参加することで時間軸のつながりが強化されたこと、この2つが大きく改革された内容と理解しました。

今後、この改革路線を強化・推進すると同時に登録団体・個人による日々の地域ボランティア活動を活発化させ、イナ・ヴォイス、校友会連絡協議会そして伊奈学園が三位一体となり地域に密着したいいきがい大学伊奈学園として充実を図って行きたい

と考えております。関係各位のご理解とご協力をお願いいたします。

氏家所長イナ・ヴォイスに多大の貢献

寄稿：伊奈学園17期 元イナ・ヴォイス委員 岩上 馨一

このたび、伊奈学園所長氏家健也氏が退任することとなり、3月3日ひな祭りの夕べに大宮の東天紅において送別会が行われ出席しました。イナ・ヴォイス関係者など40名が参加され、19期の中山代表の司会進行によって終始和やかな内に大いに盛り上がりを見せました。

氏家所長は我々17期卒業後に環境科学国際センター事務局長から着任されました。環境にも造詣の深い方と見ましたので、今年2月に開催された県河川交流会の帽子を記念にプレゼントさせていただきました。

氏家所長は、18期～20期と専科2期生卒業までの3年間、熟年学生の教育指導に尽力されました。この間、何事も熱意をこめて積極的に学生指導や伊奈連協関係事業に取り組み、特にイナ・ヴォイスについては、その設立目的

といきがい大学の趣旨の接続を一層強化されて、学生卒業後のボランティア活動を推進できるようなルートの開拓に鋭意努力されたことが強く印象に残っています。

従来は卒業と同時にイナ・ヴォイス委員となっていた制度を、思い切って専科学生を含む現役学生からも参加することに改善されたこと、紆余曲折を経ての伊奈連協・学生との統合ボランティア活動発表会開催などの画期的な実績が残されています。

もともと、第1回イナ・ヴォイス独自のボランティア活動発表会の立役者の自分としては、余り愉快ではありませんでしたが、熟慮すれば施設借用費・日程の重複回避と効率性・人的資源の同一性（出所は一つ）に基づく伊奈連協とのコラボと連携強化策等の観点からより適切妥当であって望ましい社会貢献推進団体の姿であると考えられました。

氏家所長の英断と実行力そして大きな功績に対して心から敬意を表しますとともに、今後イナ・ヴォイスが氏家所長の貴重な遺産を基盤に、その登録団体・個人のボランティア活動を大いに奨励・推進し、活動内容の拡充発展に向けて邁進されることを切にお祈り申し上げます。



「逃げた女房」を熱唱する氏家前所長

特集 第2回 ボランティア活動 発表会を開催

日ごろのボランティア活動、熟達した芸・技に感動

第2回ボランティア活動発表会を平成23年10月21日(金)に開催をいたしました。ボランティア発表会には、日ごろボランティア活動を行っている、153名の皆様にご出演を頂き、盛り上がった1日となりました。ご来場の伊那学園校友会OB、学園在校生、そして一般来場の皆さんに、ボランティア発表会についてのアンケート調査をお願いしました。

1、開催の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

伊奈学園を卒業後、長年蓄積した経験を踏まえ、ボランティア活動を率先推進されている団体・個人の活動を紹介し、伊奈学園在校生への道標として、また外部関係者の老人福祉施設、幼稚園、小・中学校、福祉連絡協議会、公共機関などには、伊奈学園卒業生の地域に於けるボランティア活動をご紹介し、ご理解を深めて頂くことでボランティア活動の場所が広がることを目的として開催しました。

2、発表会の概要・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 名称 彩の国 いきがい大学 伊奈学園 第2回 ボランティア活動 発表会

(2) 共催 彩の国 いきがい大学 伊奈学園 校友会 連絡協議会

彩の国 いきがい大学 伊奈学園

いきがい大学 伊奈学園 ボランティア情報センター(イナ・ヴォイス)

(3) 会場 埼玉県 県民活動 総合センター(小ホール)

3、発表会の内容・・・・・・・・・・・・・・・・



▲手話ダンス同好会

手話ダンス

専1期 設立

専科第1期 手話ダンス同好会

—歌詞に合わせた手話と間奏の調べに舞うダンス!!—

(於；介護老人保健施設「あすか」さいたま市見沼区染谷)

◆平成24年2月7日(火)午後2時開演の1時間前、控室では既に同好会の皆さんの熱気が満ちておりました。会場でお待ちになる今日の“お客様”に最高の温もりをお届けしたいと、「振り」のチェックに勤しむメンバーの表情は、真剣さと飛び切りの笑顔と自信が交互になりこの上なく輝いて見えたのです。

定刻、広い窓から光が差し込む2階の明るい会場では、既にご入居の皆様方19名が車椅子で詰めて居られます。会代表川口昭土さんが「一緒に楽しいひと時を」と優しさ一杯の挨拶をされた後、「四季の歌」で手話ダンスの演技はスタートしました。先ず、客席の皆様はピンク色と黄色のメンバーのTシャツに目を見張り、ダンスの動きを追うように、頭が左右に振れ、興味を示されるのが分るのでした。



◆「みんなと実技」の場面では、「夕焼け小焼け」の手話ダンスの後、女性のSさんが歌詞と手話動作の表現を腕・手・指を使い、型を見せて易しく解説されました。客席のあちらこちらで、説明の振りに習い次々と手振りをする方が増してくるのが感動的でした。このような情景こそ、ご出演おひとりおひとりの替えがたい喜びではないでしょうか。3曲目「上を向いて歩こう」の頃には会場の温もりに引かれる様に5, 6人増え25人に。

◆「みんなと合唱」の場面では、男性のTさんが一歩前で歌に纏わるエピソードを幾つか語り、そして「大きな声で元気に」と呼び掛け、施設の用意した歌集の「冬の星座」、「どこかで春が」「早春賦」と唄い進めました。

曲の合間では一呼吸のタイミングで、3拍子のリズム1,2,3の手振りを客席の皆様をお誘いし一緒に練習を。更に右腕と左腕を別々に動かし気分転換を図る配慮も見せ、日常では無い動作

や脳トレの要素も披露されるのでした。

演技者の何人かが、客席に廻り車椅子の傍らに寄り、恰も自分の父母に添う様に、一緒に歌詞を追いつく情景に



は胸を打たれました。

◆「見上げてごらん夜の星」「ふるさと」の曲が流れる頃には、星や山や川の手話動作が自然と客席に出ました。3時前「今日の日はさようなら」で締め、メンバーは惜しまれながら退出したのです。「元気を差し上げて運んだ積りが、逆に元気を頂きました。」心の通い合いを確かに胸に収めた感動の一日でした。 【活動支援部・玉置貞明訪問取材

●伊奈ボランティアニュース30号(平成24年12月)

《特集》第3回ボランティア活動発表会を開催

熱のこもった熟達した芸・技に会場は感動の拍手

平成24年10月26日(金)にボランティア活動発表会を県民活動総合センターにて開催いたしました。発表会には団体名簿に登録された62団体の中、18団体・個人のご出演をいただき、各発表のご活躍振りに昨年よりより多くの入場をいただいた観客席は感動し、大変盛り上がった一日となりました。

1. 開催の目的・・・・・・・・・・・・・・・・

伊奈学園を卒業後、長年蓄積した経験を踏まえ相互交流を図り、ボランティア活動を率先推進されておられる団体・個人を紹介し、伊奈学園在校生への道標として、また外部関係者の老人福祉施設、幼稚園、小・中学校、社会福祉連絡協議会、公共機関などには、伊奈学園卒業生の地域に於けるボランティア活動についてご理解を深めていただくことでボランティア活動の場所が広がることを目的として開催しました。

2. 発表会の概要・・・・・・・・・・・・・・・・



▲音楽に合わせて、手話ダンスを舞う
専科1期手話ダンス同好会



▲楊名時太極拳24式
専科1期「はくつる会」

“手話ダンス同好会” 活動報告

12月20日、蓮田市の“デーサービス、フローラ蓮田”を訪問しました。施設の代表者の方のお話では、10月のボランティア発表会に来られ18チーム全部の演技を見て、私達の手話ダンスに感動し是非施設で演技を披露して欲しいと思い、イナ・ヴォイスに申し込まれたそうです。大変名誉なことで私達も喜んで訪問させて頂きました。当日に会場に集まった方は女性20名、男性7名の27名でした。デーサービスの方ですので、皆さんお元気そうな方がほとんどでした。

会場には一段高くなった演台があり、見晴らしの良い場所で演技をさせて頂きました。舞台を華やかにしようと私達は赤、緑、黄の色とりどりのTシャツを着、バンダナを首に巻き登場しました。そして手話ダンスの紹介をすると皆さんこれから、何が始まるのか興味深そうに私達を注視していました。

まず私達は四季の歌を踊りました。芹洋子さんの美しい歌声に合わせて手話ダンスをすると、会場の皆さんうっとりと見てくださいました。次になつかしい童謡夕焼け小焼けを踊りました。これはやさしい手話なので会場の皆様に歌詞に合わせて一つひとつ手話の解説をしていきました。説明後皆様と一緒に



音楽に合わせて踊りました。皆さん楽しそうに上手に手を振って踊ってくれました。笑顔がとても印象的でした。

手話ダンスの途中に、懐かしい童謡歌3曲を皆さんと一緒に歌いました。皆さん童心に帰って大きな声で楽しく歌ってくれました。中央の女性の方は身を乗り出し大声で首を振りふり歌われていました。引き続き手話ダンス3曲を踊りました。

予定の時間40分を過ぎ、皆さんなごり惜しそうに大きな拍手をしてくださいました。自然に

アンコールの声が出始めたため、要望のあった“ふるさと”を踊り、盛大な拍手のもと演技を終了しました。

演技後、園の責任者の方とお話ししたところ、会場の方達は大変盛り上がり期待どおりだったとの感想をお聞きして、ほっとすると同時にやりがいを感じました。

私達は施設の方一人ひとりと堅い握手を交わし、再会を誓って施設を後にしました。

(事務局 埴恒雄取材記)



手話ダンス同好会” 活動報告

＝ 蓮田市の“デイサービス フローラ蓮田” 平成25年7月22日訪問 記＝

「フローラ蓮田」の方から手話ダンス同好会に活動の希望があり、イナ・ヴォイスの仲介を経て決定しました。会場のデイルームはハワイをイメージした絵、飾り、カーテン等を施した明るく開放的な部屋でした。この広い会場には女性19名、男性7名の26名がイスに座って、今か今かと一段高くなっているステージに注目している様子でした。

ステージ上にカラフルなT シャツにバンダナを首に巻いた姿の手話ダンス同好会9名の皆さんが登場し、先ず元気よく挨拶すると、皆さん拍手や笑顔で答えてくれました。



最初に手話ダンスを紹介してから、“四季の歌”に合わせて手振りでも手話をしながら手話ダンスを踊りました。すると皆さんは芹洋子さんの透通った歌声と色鮮やかな服装で手話ダンスをするボランティアの皆さんの姿にすっかり魅せられた様子でした。

次に、懐かしい童謡“夕焼け小焼け”を1曲踊り、次に歌詞に合わせて手振りの一つ一つの意味を丁寧に説明し、再度この曲を会場の皆さんと共に踊ると、手振りよろしく身体を動かし始める人もいて、会場は和やかな雰囲気になってきました。



次に2曲の童謡を歌謡リーダーのTさんの素晴らしい歌声に合わせて会場の皆さんと合唱すると、懐かしそうに頷いたり、手振りを交えて歌っていました。

予定した時間が少なくなり、最後の曲“今日の日はさようなら”を踊り終わると、皆さん名残惜しそうにお互いに見合ったりしていました。すると、透かさずアンコールの掛け声がありました。

アンコールの一曲目は“上を向いて歩こう”、続いて“明日があるさ”を歌い

ながら踊りました。用意したアンコール曲はこれで終了し、会場の皆さんからの盛大な拍手の中で終了となりました。手話ダンス同好会のメンバーはステージ上でお別れの挨拶をし、次に全員ステージから降りて、会場の皆さん一人ひとりに声をかけながら固い握手を交わしお互いの健康とまた会えるよう約束していました。今回手話ダンス同好会の活動現場取材し、ボランティア活動をすることは如何にして観客の皆さんと一緒に楽しみ心の触れ合いをしていくか、ということを感じました。【広報部 菊地 取材記】 _

●伊奈ボランティアニュース34号(平成25年12月)

《特集》第4回 ボランティア活動発表会を開催

日頃の活動成果発表に、会場は新たな感動と大きな拍手平成25年10月25日(金)にボランティア活動発表会を県民活動総合センターにて開催いたしました。今回より会場費負担増のため、出演を有料としたにも拘らず、団体名簿に登録された62団体(個人)の中、15団体のご出演をいただきました。又、演技開始前に、活動団体の日頃の活動状況・訪問先等を観客に説明していただき、「紹介タイム」を設けました。活動方針・実績・状況等をスクリーンの映像に合わせたコメントで日頃の成果を発表し、ステージ発表だけではわからない日頃のご苦労・楽しみが判り、会場はいつそうの共感と感動で盛りまりました。

1. 開催の目的・・・・・・・・・・・・・・・・

伊奈学園を卒業後、長年蓄積した経験を踏まえ相互交流を図り、ボランティア活動を率先推進されておられる団体・個人を紹介し、伊奈学園在校生への道標として、また外部関係者の老人福祉施設、幼稚園、小・中学校、社会福祉連絡協議会、公共機関などには、伊奈学園卒業生の地域に於けるボランティア活動についてご理解を深めていただくことでボランティア活動の場所が広がることを目的として開催しました。

2. 発表会の概要・・・・・・・・

- (1) 名称 彩の国いきがい大学伊奈学園 第4回ボランティア活動発表会
- (2) 共催 彩の国いきがい大学伊奈学園 校友会連絡協議会・彩の国いきがい大学伊奈学園・いきがい大学伊奈学園 ボランティア情報センター(イナ・ヴォイス)
- (3) 日時 平成25年10月25日(金) 9:30~16:30
- (4) 会場 埼玉県 県民活動総合センター(1階 小ホール)

3. 発表会の内容・・・・・・・・



▲音楽に合わせ手話ダンス

専科1期手話ダンス同好会

専科1期

●伊奈ボランティアニュース35号(平成26年2月)

19期太極拳クラブ、正調安来節同好会、専科1期手話ダンス同好会の活動報告

=於蓮田市コミュニティセンター=

8月29日(木)午後から蓮田市コミュニティセンターへ、伊奈学園校友会のボランティア活動登録団体の活動状況取材に出かけました。会場は天井が高く、舞台もある立派な建物です。館内には既に学童を含む男性8名、女性17名が椅子に座って待っていました。まず、主催者側の蓮田シルバー人材センター副長の斉藤さんから出演ボランティア団体の紹介がありました。斉藤さんは伊奈学園17期地域創造科の先輩でもある事から、出演を依頼し実現したとのことでした。

初めに、19期太極拳クラブの皆さんが緑色に統一し

「太極拳剣舞」た中国服装で現れ、胡弓の音色に合わせてゆっくりした動作で24式太極拳を踊り始めました。更に、剣舞ではキレのある動作と音楽で会場は癒される雰囲気となりました。次に、伊奈学正調安来節同好会の皆さんはコミカルな恰好と演技で男踊りと夫婦踊りを演ずると、会場のあちこちから笑い声が起き、拍手です。



2番目に玉すだれのメンバーが派手な衣装で現れ、玉すだれを操って色々な形を完成させていきます。

すだれが引っ掛かりアタフタし、更に他の演者からも急かされ、困りはてる様子に会場から“頑張れ”の掛け声や思わず失笑していましたが、最後にミッキーマウスや象さんが見事に完成した時には、大きな拍手と歓声が起きていました。



「玉すだれ」次にお祭り姿で現れ、会場のみんなを取り囲んで八木節を踊り始めました。次第に子供さんも踊りの輪に参加させて一緒に踊り

始まり、会場は和やかな雰囲気となりました。

最後に、専科1期手話ダンス同好会の皆さんが、色鮮やかなスカーフと服装で童謡に合わせて手話を一通り説明しながら踊って見せました。繰り返しの曲では会場のあちこちで手の形を真似しながら一緒に歌っていま「手話ダンス」した。

今回、会場の皆さんと一緒に歌ったり踊ったりしているボランティアの皆さんの姿を見ていると、実に楽しそうでいきいきと見えました。



【広報部菊地正光取材記】

「おかしなあそび童夢21」ボランティア活動 まちづくりコース 葛川さん外参加

4年間150回5000名の方と交流

平成28年3月14日、さいたま市内のデイサービス「三恵園ひかわ」へ訪問して150回記念公演をさせていただきました。くす玉割りをして、しょうつかの婆さんの語りから、通りゃんせ・ベーゴマ・お手玉・かごめかごめ・縄とび・竹とんぼ等の昔の遊びを、40名の方々と一緒に遊び一緒に歌い、150回記念のダンス「ルンバ」も踊らせていただき、全員で健康体操を踊り、楽しく交流をしました。

イナ・ヴォイスからの紹介の訪問先も多数あり昨年は、いきいきフェスティバルに「竹とんぼ作り」で初参加。イナ・ヴォイスの集客のお蔭でわずか2時間余りの内に、100セットも用意した竹とんぼがなくなってしまい、嬉しい悲鳴でした。いきいき埼玉の関係で、公開授業の事例発表や次世代育成支援事業に出演。

昨年は中国の高校生100名と中国語を交えて交流。プレゼントのお手玉を全員でやり、フィナーレは引率の校長先生の熱唱「北国の春」に合わせて、全員で健康体操を踊りました。



いきいき埼玉の推薦を受けて、テレビ埼玉「ごごたま」に出演。4台のカメラの前で立ち位置を確認してリハーサル、そして緊張の生本番。「いきがい大学で素晴らしい仲間に出会えました」とインタビューに答えました。童夢21を番組に取り上げていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

ボランティア活動は楽しくなければ続かないと言います。地域創造科21期の課題学習のメンバー9名でスタートした童夢21も、4年間で3



名のメンバーが入れ替わり大変な時期もありましたが、地域との係わりが深くクラブ活動に励む芸達者な協調性のある素晴らしいメンバーに恵まれ、童夢21の訪問を喜んで迎えて下さる方々のお蔭で、4年間152回延べ5,060名の方々と楽しい交流をさせていただくことが出来ました。

いきがい大学を通して、「仲間」と「いきがい」を見つけることが出来ました。これから先も、訪問200回を目指して、童夢21の活動を楽しんでいきます。

(童夢21 山田記)

伊奈 ボランティア ニュース

発行元：伊奈学園ボランティア活動情報センター 令和元年12月 第52号



《特集》第10回ボランティア活動発表会を開催

この発表会は「いきがい大学伊奈学園校友会連絡協議会」、「伊奈・ボランティア情報センター（イナ・ヴォイス）」、「彩の国いきがい大学伊奈学園」の共催で、伊奈学園卒業生のボランティア活動の発表の場です。発表分野は朗読、民話、手品、合唱、ウクレレ等の楽器演奏、ダンス、フラダンス等多様な分野に亘り演技を披露致します。

今回は第10回目の記念すべき活動発表会となります。特別企画として舞台上の活動発表会終了後には特別抽選会を開催し、抽選による当選者10名には防災グッズが賞品として贈呈されました。

- | | | |
|---------|---------------|-------------|
| 1. 開催日時 | 令和元年11月9日(土) | 午前 9時00分 受付 |
| | | 午前 9時20分 開演 |
| | | 午後 3時30分 終了 |
| 2. 開催場所 | 埼玉県県民活動総合センター | 1階 小ホール |

今年に入ってから新型コロナウイルス感染防止の為に公共施設の貸し出しも3月から停止し、ボランティア活動も停止に追い込まれました。その上、埼玉県のいきがい大学も大きな変革があり、これまでのいきがい大学伊奈学園の2年制、一年制の専科コースと専攻科コースも廃止されて閉校となり、設置目的であるボランティア養成の趣旨もどこかに吹っ飛んでしまい、イナ・ヴォイス委員の供給も絶たれてしまった事からイナヴォイスも活動停止の状態に追い込まれ止むなく、令和2年10月事業活動終了の運びとなりました。

振り返れば、私達専科1期生も入学してからボランティア団体として「手話ダンス同好会」、「太極拳クラブはくつるの会」がイナ・ヴォイスに団体登録して活動してきたことや、個人的に地域活動に参加してボランティア活動に取り組んでいる人達も大勢います。私達が学んだいきがい大学伊奈学園が閉校したことで、我々の先輩や氏家健也所長の協力して作り上げてきた、組織としてのイナ・ヴォイスがボランティア活動の事業活動終了せざるをえなくなったことは痛恨の極みです。

また、伊奈ネットクラブもイナ・ヴォイス同様に影響を受けて令和2年6月、全HPを閉鎖します。この事態を現在でもHPを管理しているものとしてショックが余りにも大きすぎます。私は伊奈ネットクラブの個人HP「わが青春」で私の踏み跡を整理して公開してきたので、それが無くなることは耐えられず、それでも細かいところはカットしましたが、紙ベースで印刷したところA4コピーを2500枚ほどになりました。

私が専科1期生としてHPに出会ったことで、この10年余は輝いて生きて来たことは事実です。また、専科1期の万年広報担当として校友会を裏方として支え来たことも自分なりに自負があり、今年度で有料校友会は終了しますが、来年度からは無料校友会として、私が広報連絡担当として再出発します。

●専科一期校友会 手話ダンス同好会

私達のいきいきボランティア活動



専科一期校友会手話ダンス同好会

[ここをクリック](#)

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	計
★手話ダンス同好会 28年度までボランティア訪問回数と参加人数、それ以降活動回数と参加者人数											
4-61	12-168	11-92	17-122	13-81	11-72	11-59	34-198	18-97	23-116		154-1066

★この活動記録は H26. 12. 23 に急逝した栗原八洲子さん偲んで私が作成したものです。

私達のニイハオ・ボランティア活動報告




専科一期校友会太極拳クラブ

[ここをクリック](#)

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	計
★太極拳クラブ 28年度までボランティア訪問回数と参加人数、それ以降活動回数と参加者人数											
1-15	6-64	7-45	11-54	12-66	4-16	1-5	22-164	23-160	20-133		107-722

★この活動記録は H26. 12. 23 に急逝した葉原八洲子さん偲んで私が作成したものです。

●手話ダンス同好会の活動が「さいたま市生涯現役世代応援ガイド」に掲載されました

 **さいたま市**



生涯現役世代 応援ガイド

次のステージへ扉を開こう！！



手話ダンスだより 88号

さいたま市のガイドブックが発刊されました。昨年の11月25日の手話ダンスだより83号でご紹介したとおり、さいたま市の長寿応援部から取材を受けた「生涯現役世代応援ガイド」が完成し、印刷会社からサンプルが送られてきましたので、お約束どおり皆様にご紹介いたします。内容は16ページ立て、ボランティアグループの紹介としては私たち同好会のほか1グループだけで、思っていたより少ない取り扱いでした。別添で表紙、目次と私たちの紹介ページをご覧ください。なお、このガイドブックは、さいたま市高齢福祉課と各区役所高齢介護課の窓口においてあります。手にとってご覧いただければ幸いです。

「シニアの皆様の活力を地域のパワーに」

さいたま市長 清水勇人

本市は平成26年に、65歳以上の人口が全人口の21%以上を占める、超高齢社会に入りました。団塊の世代が75歳を迎える2025年も間近に迫ってきています。

少子高齢化のさらなる進展が見込まれる中で、地域の活力を維持し、さらに高めていくためには、元気なシニアの皆様に、いっそういきいきと活躍していただく必要があります。

定年退職や子育てなどがひと段落した方々にとって、その後のセカンドライフにおいても、社会とのつながりを持ち続けることが、心身の健康を維持するために重要だと言われています。

本市には、60歳や65歳ごろまで、都内で仕事を中心に生活をされてきた方が少なくないものと思われます。また、各ご家庭内での役割が忙しく、地域社会とのかかわりをあまり持てなかった、という方もおられるでしょう。

そういった方々にとっては、地域の中で社会とのつながりを持つとしても、どのようにすれば良いのか分からない、という場合もあると思います。

この冊子では、年齢を重ねられてからも、就労、ボランティア、趣味、地域活動など各方面で精力的に活動されている方々をご紹介するとともに、各種活動を支援する窓口などを掲載しています。

ぜひ、参考にしていただき、ご自身の楽しみを見つけ、生きがいを高める一助にいただければ幸いです。

それを通じて、皆様の活力を地域に還元していただき、本市のさらなる発展にお力添えをさせていただきますよう、お願い申し上げます。



Contents	2	心豊かなセカンドライフを送るためにー スペシャルインタビュー
	3	高齢者のコミュニケーションと新しい居場所の創造
	5	就 労 シルバー人材センター会員
	6	就 労 BABAlabさいたま工房
	7	ボランティア よつば会
	8	ボランティア 手話ダンス同好会
	9	地 域 活 動 岸・神明ふれあいサロン
	10	趣 味 春岡グラウンド・ゴルフ愛好会
		窓口紹介
	11	住まい さいたま市シルバー人材センター
	12	学びたい さいたま市シニアユニバーシティ さいたま市民大学 さいたま市生涯学習情報システム
	13	参加したい さいたま市シルバーバンク さいたま市社会福祉協議会 いきいきボランティアポイント事業 長寿応援ポイント事業 さいたまシニアクラブ（さいたま市老人クラブ連合会）





ボランティア

手話ダンス同好会

手話ダンスとは？

歌に合わせて、手話を使って歌詞のイメージを表しながらステップを踏むダンス。手話での表現を覚えることができ、聴覚障害のある方との交流ができるのはもちろんですが、子供から高齢者まで、年齢を問わず楽しく歌って踊れるダンスとして広がりをみせています。また、歌詞と振りを覚えて歌いながら体を動かすことは、認知症の予防に効果があるとも言われています。

定年退職後、学びの場での出会いがー

「手話ダンス同好会」は、月に2回の練習に加え、ほぼ月に1回のペースで介護施設や各地区の公民館、学童保育所などをボランティアで訪問し、手話ダンスイベントを開催しています。現・代表の角田進さん(70歳)は、62歳で退職し、それを機に埼玉県の「彩の国いきが大学伊奈学園」に入学。在学中に手話ダンスに出会い、卒業と同時に同級生とともに「手話ダンス同好会」を立ち上げました。それから8年、さまざまな事情で辞めていく人もいる中、地域のつながりから新しい仲間も加わり、現在は9名で活動中です。



ボランティアで地域の「ひと」とつながる



ある日の訪問先は、グループホーム「ニチケアセンター大宮公園」。この施設に伺うのは2回目です。手話ダンスの曲目は、だれもが知っている童謡や歌謡曲ばかり。指導の鏡目二三子さん(83歳)が分かりやすく動きを説明しますが、入居者の皆さんはお手本の時から一緒に歌ったり、振りを見せたり、手拍子したりと、とても楽しそうにいらっやいました。50分ほどのイベントが終わる頃には、思わず「寂しい」という声が漏れ、最後はメンバーとの握手や抱擁でフィナーレを迎えました。

施設職員の須佐淳子さんにお話を伺いました。

「手話ダンス同好会の方に来ていただくことで、地域の方々との接点を持つことができています。何より入居者様と世代の近い方々に、温かく接していただけることがありがたく、今後も皆さんの力をお借りして、元気をいただけたらと思っています。」

ボランティアしながら、ボランティアされている

ボランティア先へは、同好会からお声かけをして出向きます。行く先々で感謝の言葉をいただくことも多いですが、「行くところがある」のは、実は同好会メンバーにとってもありがたいこと。ボランティア活動をすることで生きがいを感じ、元気をもらっています。「ボランティアしながら、自分たちもボランティアされているんです。仲間と共にこうした活動に参加できて、盛り合いのある生活が送れています。退職後などにそれまで地域との接点がなくても、地域にはさまざまな学びの場などがあり

ますので、そこに入って勉強するのも仲間を作る方法のひとつ。自分が好きなこと、楽しいと思うことを始めてください。今日が、これからの人生で一番若い日です。」



メンバー 左から
角田進さん(70歳) 須佐淳子さん(69歳) 鏡目二三子さん(83歳)
藤本れい子さん(64歳) 高橋綾さん(75歳)

手話ダンス同好会DATA

- 活動日 第1もしくは第2火曜日10:00～、第4土曜日10:00～の月2回 月1回のボランティア活動
- 場所 おもに大宮区宮町自治会館 火曜日は伊奈町の県民活動報告センターの場合あり

●専科一期生の個人的に地域に入りボランティア活動している仲間を紹介します。

平成 28 年度 活 動 報 告 シ ー ト

◆ 団体名：行幸湖浮きウキフェスタ実行委員会 19A-49

代表者：委員長 田中 忠

URL

1. 活動が必要とされた状況 行幸湖（みゆきこ）は、利根川と中川を結ぶ調節池（＝平地ダム湖）で、中川の洪水抑制（夏期）と工業用水と水道水の取水（冬期）に利用されている。夏期には水位の低さ（4 m）と流量の少なさから、水質が悪化しアオコが大量に発生する。また、5km にわたる 両堤防は、コンクリートブロックで護岸され、さらに夏冬の水位差が 7m もあり、岸边にも 水面にも植生にとぼしく、57ha（東京ドーム 12 個分）のダム全体が貧弱な生態系になっている。そこに水質改善機能を持つ「ビオトープ浮島」を設置して水質改善と生物多様性空間づくりを行う。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など） 「ビオトープ浮島」（以下浮島）の組立・設置： 浮島は、間伐材と竹を組み合わせたイカダに、木炭とアシの根を入れた袋を積み、水面に浮かしたもの。アシの成長と共に アシの根による水質改善作用と、茂ったアシによる「島」は、鳥 や魚などの休憩場・隠れ場となり、新たな生物多様性空間を出現させる。

10 月 30 日、市民団体・近隣企業・地元行政で構成される実行 委員会（21 団体）が水辺再生イベント「浮きウキフェスタ 28」 を実施。その一環として浮島を作り、湖面に設置した。 浮島づくりには、小学生以下の子供 21 名を含む計 87 名が参加、4 班に分かれ 4 基の浮島をつくった。組み立てられた浮島 は、竹のレーンを使い湖面に投入（進水式）、ボートにより湖の 中央に係留され固定された。

3. 活動の成果 今回設置された浮島は、アシの生える 1 年後以降でないと、水質改善、生物多様性空間 づくりの効果は出ないが、平成 21 年にフェスタ開催以来、毎年設置された浮島の数はすでに 64 基あり、こうした既存の浮島と連動した効果の増加が期待される。 浮島づくりへ参加した子供たちには、水環境の大切さや浮島のもつ役割など、浮島組立 を通じて伝えることができた。

4. 今後に残された課題 広大な水面をもつ行幸湖のアオコ発生に対して、この数の浮島の水質浄化作用では決定的な効果は期待できない。しかし、生物多様性空間は着実に増え、その成果を見ることが出来る。アオコの問題にどう対処するか、今後の課題である。



浮きウキフェスタ 2019 行幸湖

(令和元年 10月27日)

行幸湖は、埼玉県幸手市、久喜市と茨城県猿島郡五霞町の境界にある調整池であると同時に、利根川水系一級河川権現堂川でもある。★1992年(平成4年)3月 調整池としての工事が完成。★2004年(平成16年) 彩の国まごころ国体のカヌー競技会場となる。★2007年(平成19年) 埼玉県営権現堂公園としての整備が完成。

平成21年以来、「水辺の再生」ワクワクイベントとして、★浮島づくり、★カヌー・ドラゴンボート水に親しむ体験、★手作り体験教室、★ちんどんパフォーマンス(幸手桜高校演劇部)、★マーチング披露(栗橋東中学校吹奏楽部)、★様々な出店等あり、地域起しを兼ねた秋のイベントとして開かれている。前上田埼玉県知事も力を入れた浮きウキフェスタである。



今回は田中さんのご厚意で、4月の総会後に郷土コースオープン事業として企画したものの日曜日とあって、皆さん外の用事と重なってしまったことなどで、私一人の参加となってしまった。行幸湖浮きウキフェスタ実行委員会委員長 田中 忠田さんには車2台も用意していただいたのに、私のPR不足でご迷惑を掛けてしまい申し訳ない。

さて、個人的には水辺のある風景が大好きな私は今回の企画を楽しみにしていた。埼玉県営権現堂公園について見れば、お天気に恵まれたイベントが様々な企画されており、これは地域起しのお祭りではないのと思ってしまうほどの賑やかさである。

実行委員長として忙しい中、田中さん一家にお会いして記念写真を最初に撮らせていただき、それ以降は自由に取材させていただいた。その状況を紹介します。



幸手桜高校演劇部の幸手市しあわせ応援大使



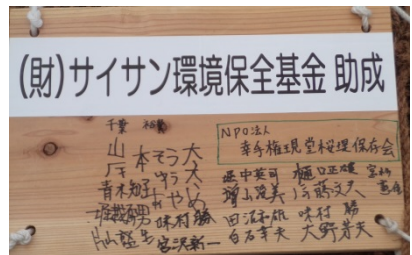
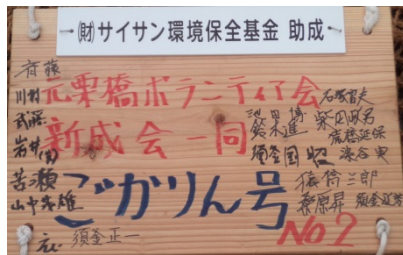
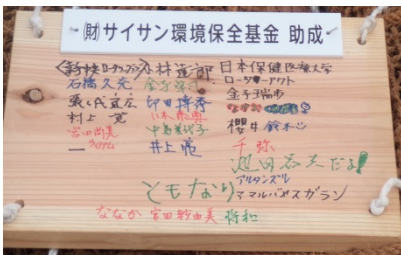


久喜市栗橋東中学校吹奏楽部

- ★平成30年度全日本マーチングコンテスト：銀賞、★マーチングバンド関東大会：金賞
- ★サマーマーチングフェスティバル：優秀賞、★埼玉吹奏楽コンクール新人戦：金賞



カヌー・ドラゴンボート水に親しむ体験、



筏作成者・三艘



久喜市長の視察と激励



浮島を竹の上を滑らせ土手まで運びそこから竹の上を水面まで滑らせます。



浮島は、間伐材と竹を組み合わせたイカダに、木炭とアシの根を入れた袋を積み、水面に浮かしたものの。アシの成長と共に アシの根による水質改善作用と、茂ったアシによる「島」は、鳥や魚などの休憩場・隠れ場となり、新たな生物多様性空間を出現させる。





田中さん達の南栗橋5丁目自治会出店

- ★旧友に会い秋祭り楽しみぬ
- ★秋風に乗る音色かなチンドン屋
- ★空高し迫力あふるブラスバンド
- ★秋の川カヌーを操る子供かな
- ★川の秋太鼓を叩くドラゴンボート
- ★秋晴れや筏を川へ押し出しぬ
- ★湖の秋や浮きウキフェスティバル
- ★試食せし味覚の秋や祭り来る
- ★コスモスに見向きもしない祭り人
- ★仲秋や浮島見ゆる行幸湖



田中さんは花の苗を自宅で増やしては自治会イベントに寄贈しています。自治会の方は無料。部外者の私は一鉢50円を寄付させて頂きました。



今日のハイライト 丘の上の浮島で記念撮影

郷土の会 相場恒夫さん 「シラコバト賞」を受賞！



県民の日である令和元年11月14日、「令和元年度県民の日記念式典」が開催されました。会場はさいたま市浦和区の埼玉会館で、大勢の県民が集まり、県歌を斉唱して始まりました。式典では、様々な分野で県民の模範となる顕著な功績を挙げられた方々や、県民の日記念作文コンクールと絵画コンクールで入賞された小中学生の皆さんが表彰されました。埼玉県内には、日頃、身近なところで、住みよい地域社会の実現のために、多くの方々が積極的な実践活動を続けています。

★彩の国コミュニティ協議会では、そうした活動を行う個人及び団体へシラコバト賞を贈呈し、その活動と功績を顕彰しています。郷土の会の相場恒夫さんは、より良い地域社会を築くための活動を長年にわたって行ってきました。その「住みよいふるさとをつくる活動」に対して、相場恒夫さんが大野県知事より「シラコバト賞」を個人表彰されました。これ正しく「いきがい大学伊奈学園」の建学の精神に基づく、地道なボランティアを実践してきた卒業生の姿です。相場さん「受賞おめでとうございます」。これからも地域のためにボランティア活動を無理のない範囲内で続けられることを願っています。

★私達の専科1期卒業生は、「いきがい大学伊奈学園」建学の精神に基づき、手話ダンス同好会、太極拳クラブや、田中忠さんをはじめとする個人的にボランティア活動されている方々も大勢いることを合わせてご紹介させていただきます。(郷土の会 岡村)

2019 11/14 土

思い出をたくさん作ろう!

埼玉 県民の日

HAPPY BIRTHDAY SAITAMA!!

Let's go!

埼玉県マスコット「シラコバト」

西武動物公園

むさしの村

東武動物公園

こども動物自然公園

自然の博物館

所沢航空発祥記念館

川の博物館

入館料・入館料 無料など!

県民の日協賛行事

県内レジャー施設・県内公園・美術館・博物館 など

※施設によって無料となる対象年齢が異なります。

お客様各位

伊奈いきがいネットクラブ
理事長 鈴木 進

「いきがい大学伊奈学園」のホームページ終了のお知らせ

いつも伊奈学園のホームページをご利用いただき、ありがとうございます。

高齢者のより豊かな日常生活の支援にと設立された「いきがい大学」、その一助にと伊奈学園の支援と要請も受けて、平成 13 年、在校生有志が集まり検討し「伊奈学園ホームページ」を立ち上げました。

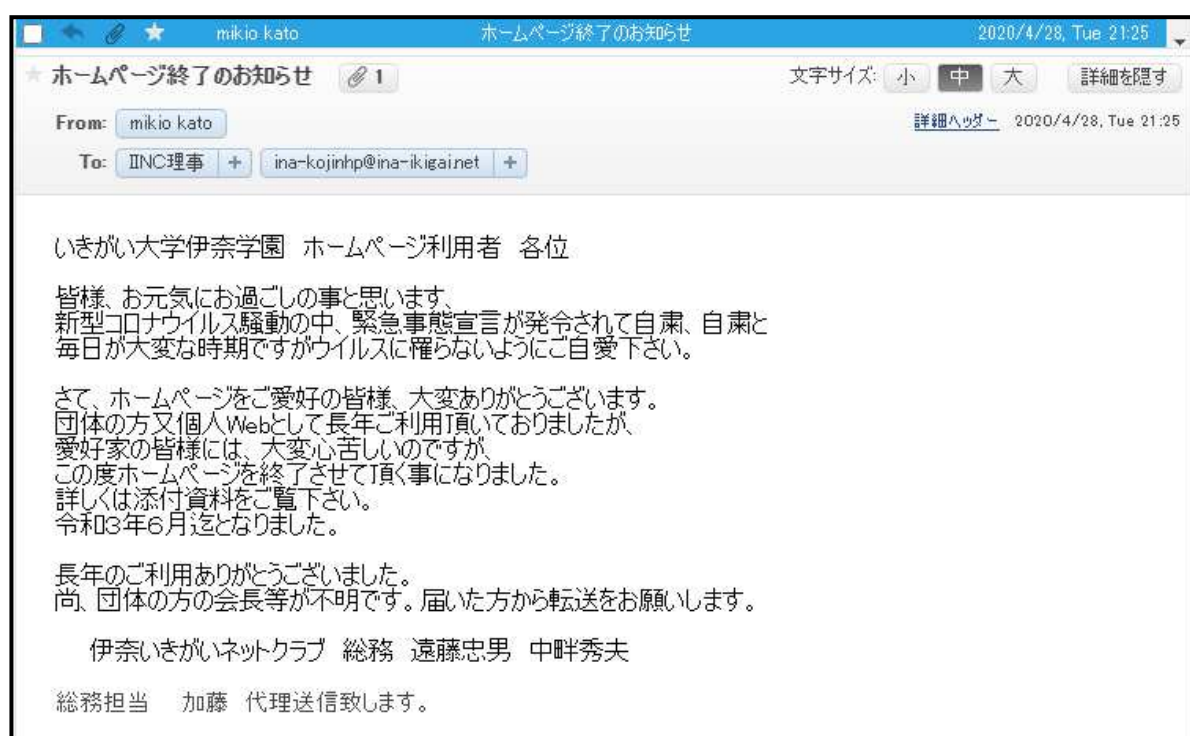
そしてホームページの運用についての研修会も開催し、在校生・校友会&クラブ活動にと沢山の人が利用する大きな輪となりました。設立以来 20 年になりますが、高齢化も進み利用いただく団体も減少した現状と、伊奈学園も廃止となり連携が取れなくなりました。

情報が遅くなりまして誠に恐縮ですが、長い間ご利用いただいたホームページは、令和 3 年 6 月末（来年 6 月末）をもって終了とさせて頂くことになりました。大変申し訳ございません。

終了に至る経緯（「彩の国いきがい大学」の廃止など）や今後の予定などについては別途ご報告させていただきます。

なお、令和 2 年度以降のサーバー使用料及びメーリングリスト使用料につきましては無料とさせていただきます。

お客様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒御理解の上よろしくお願い申し上げます。



彩の国いきがい大学伊奈学園OBのページ

[▶ 学園紹介](#)[▶ 学園生活](#)[▶ 学生募集案内](#)[▶ ボランティア活動](#)[▶ 交通案内](#)[ホーム](#)[学園プロフィール](#)[OBの活動](#)

【学園からのお知らせ】

● 彩の国いきがい大学伊奈学園は開校しました。(令和2年3月)

学園関連サイト

地区活動6団体

◆いきがい愛の会

◆伊奈さいたま会

◆まろにえ会

◆東部OB会

◆彩央会

◆いきがいロスモス会

校友会連絡協議会(伊奈連協)

INVOICE(ボランティア情報センター)

INIC(伊奈いきがいネットワーク)

埼玉県明るい長寿社会づくり推進機構(いきがい大学公開学習・情報誌あひるぐ・高齢者創作展・ITパソコン講座等)

県民活動総合センター(センター利用案内、宿泊、施設予約、講座・講演・コンサート案内・予約等)

OBの活動紹介「各期の活動、クラブ活動・発表会・作品展・会員募集などのご案内」

[前のページへ](#)

698164



彩の国いきがい大学伊奈学園OBの活動紹介

OB・校友会・関連団体等の活動をご紹介します。

ホーム
前のページへ

いきがい大学伊奈学園を卒業した卒業生は各年次ごとや、サークル活動団体、地域活動団体などそれぞれホームページを立ち上げています。各団体の活動の様や、会員募集案内などはそれぞれのホームページを訪れてください。

※ 各団体のバナーをクリックすると目的のページにジャンプします。

掲 示 板(クラブのイベント案内等)		掲 示 期 間
OB活動		
名称変更	東部地区OB会は今年29年4月から団体名称が「東部OB会」に変わりました。	
男の料理教室	連載99回をむかえました。次回100回目の掲載となります。	通 年
伊奈ゴルフ	新会員募集中 年間6回のコンペを積み上げ、27年3月に、100回目の大会を開催。記念パーティーも盛大に盛り上がりました。	通 年

※ お願い

掲示板への掲載は、OBの活動(イベントの開催などで営利目的を除く)を掲載します。

掲載希望の方は、INC(17期鈴木)までご連絡ください。

期を超えてOBが作るクラブ等の活動紹介です。

下記のボタンをクリックすると、目的のページにジャンプします。

[伊奈ゴルフクラブ](#)

[いきがい囲碁同好会](#)

[男の料理教室](#)

[街歩き\(専攻3木\)](#)

※ 掲載については、INC担当までご連絡・ご相談ください。掲載ページの作成や団体ホームページ作成の相談に応じます。

良く利用するWEBサイトへのリンク及び卒業生在住地区別の活動団体

<p>関連団体へのリンク</p> <p>彩の国、いしがき大学伊奈学園</p> <p>ボランティア情報センター </p> <p>県民活動総合センター (施設予約・宿泊・各種案内等)</p>	<p>地域活動団体(居住地別組織)</p> <p>彩央会 (橘川以北在住OB)</p> <p>まろにえ会 (鎌田と周辺地域在住OB)</p> <p>いきがい愛の会 (上尾・伊奈町と周辺)</p> <p>伊奈さいたま会 (さいたま市)</p> <p>いきがいコスモス会 (久喜市と周辺)</p> <p>東部OB会 (県東部地区在住OB)</p>
---	--

伊奈学園校友会連絡協議会

専攻課程【卒業した期の連絡や活動紹介】

[1期\(水\)校友会](#)

[2期\(水\)校友会](#)

[3期\(火\)校友会](#)

[4期\(水\)校友会](#)

二年制課程【卒業した期の連絡や活動紹介】

[15期校友会](#)

[17期校友会](#)

[18期校友会](#)

[19期校友会](#)

[20期校友会](#)

[21期校友会](#)

[22期校友会](#)

[24期校友会](#)

[25期校友会](#)

一年制課程

[専科1期の会](#)

[専科2期校友会](#)

[専科3期校友会](#)

[専科5期校友会](#)

[専科6期校友会](#)

いしがい大学伊奈学園校友会連絡協議会

2020年度の活動	2019年度の活動	2018年度の活動	2017年度の活動	2016年度の活動
2015年度の活動	2014年度の活動	2013年度の活動	2012年度の活動	2011年度の活動
2010年度の活動		2009年度の活動		

2020年(令和2年)度の活動

2020年度総会

[*伊奈連協会則・細則\(4/30.5.11現在\)](#)

・理事会 議事録

[第1回理事会議事録](#)

[第2回理事会議事録](#)

・2020年度行事案内

・2020年度県連協理事会

・ボランティア活動 情報

[イナヴォイス終了のお知らせ](#)

・2020年度行事報告

いしがい大学伊奈学園

彩の国いきがい大学伊奈学園校友会連絡協議会

平成22年度役員

本年度の役員と会員数は下記の通りです。

1. 理事会役員

役 職	氏 名	期
会 長	墨田 金蔵	15期
副会長	林 栄治	16期
	堀口 耕彦	17期
代表理事	黒原 清	1期
	片桐 由雄	2期
	吉田和三郎	3期
	辻井 彦二	4期
	長井 清吾	5期
	角海 一善	6期
	野口 正次	7期
	渡邊 一博	8期
	岡田 秀夫	9期
	中村 修	10期
	手塚 眞雪	11期
	天野 健	12期
	鈴木 正明	13期
	墨村 三郎	14期
	清宮 信雄	18期
早戸 憲吾	19期	
田中 忠	専科1期	

(事務局)

役 職	氏 名	期
会計担当	金子 敬男	15期
	小池 一正	15期

役 職	氏 名	期
理 事	佐藤 伸次	1期
	松本 武雄	2期
	堀沢 麗子	3期
	細野 芳治	4期
	松本 啓雄	5期
	天 茂子	6期
	白石 荘	7期
	佐藤 耕一	8期
	古谷 衛	9期
	平野 元典	10期
	武井 芳治	11期
	高橋 健治	12期
	鈴木 卓	13期
	宮下 輝雄	14期
	福島 一夫	15期
	宮島 新一	15期
	横本九二男	15期
	中島 幸昌	15期
	岡島 古城	16期
	荒井 次男	17期
今泉 一男	18期	
山口 登	19期	
監 事	小金澤喜男	専科1期
	平野 元典	10期
	金子 博	18期

2. 代議員

役 職	氏 名	期
代議員	鈴木 進	4期
	黒須 定雄	5期
	墨村 繁	7期
	田野 政一	8期
	岩嶋 三富	9期
	河内 伸夫	11期
	川田 善郎	12期
	阿部 紀一	14期
	藤原 昂	15期
	花合 清	16期
	瀬口宏一郎	17期
	金子 博	18期
	山口 守	19期
	横 恒雄	専科1期



ホームページ委員会

校友会ニュース

上へ

理事会

ホームページ委員会

イナ・ヴォイス委員会

在学中(21年度6月～3月)から「いぎがい大学伊奈学園ホームページ委員」として活動されている方々を紹介します。卒業後の校友会活動、クラブ活動等々の情報を収集して、ホームページに掲載し、情報共有化による校友会活動の円滑化と地域活動の参加や、有意義な日常生活をおくることをも目的としています。また、あわせて、ホームページを通して、シニア世代の皆様に、「いぎがい大学伊奈学園専科コース」の学園生活の情報を発信することを主な任務としています。卒業後 H23.4.1に新たに委嘱状が伊奈学園から発令されました。平成25年度から伊奈学園HP編集委員会が在校生編集委員会と校友会HP編集委員会に分離したため、校友会HPのホームページ委員の依頼は校友会が総会でお願いすることになりました。

コース	氏名	
健康づくり	伊藤 盛夫	HP委員長
	堀 恒雄	
郷土を知る	岡村 昭則	専科一期HP管理人、
	田中 忠	HP委員副委員長
まちづくり	久保田 圭子	
	山田 宏明	

★専科一期校友会HPアドレスの変更 [ここをクリック](#)

専科一期校友会の皆様へ

<本内容は重要なお知らせです>

2015.11.21

専科一期校友会HP管理人 岡村昭則

IINC 理事長鈴木 進さんから専科一期校友会HPアドレスの変更について下記によりお知らせがありました。HPトップページにも掲載していますが、文書をメーリングリストで配布しますので取り扱いを宜しくお願いします。

「日頃は伊奈いさがいネットクラブ (IINC) のサーバーをご利用いただき誠に有難うございます。

この度、IINC では Web サーバーのアドレス (ドメイン名) を olff.net/ から、より一般的に認知されやすい ina-ikigai.net/ に変更することとなりました。大変お手数をお掛けしますが、下記についてよろしく取り計らいをお願い致します。

記

既アドレス (URL)	①団体の方	http://www.olff.net/ina-senka01/	専科一期	}
	②個人 HP の方	http://www.olff.net/HP/okamura/	岡村	
	③メーリングリストの方	inasenka1ki@ns.olff.net/	専科一期	

1月6日(水)～
アドレスを書き換えて
接続確認して下さい。

変更後	①団体の方	http://www.ina-ikigai.net/ina-senka01/	専科一期	}
	②個人 HP の方	http://www.ina-ikigai.net/HP/okamura/	岡村	
	③メーリングリストの方	inasenka1ki@ina-ikigai.net/	専科一期	

(本工事のために、編集作業は 1/4～1/7 までアクセス休止となります)

(既に olff.net/ ではなく ina-ikigai.net/ になっている方は現行どおりです)

・閲覧者への案内として各々の TOP ページにアドレス変更の事前周知をして頂きたいと思ひます。(別紙参照)

・切り替え完了後(1/6～)には新アドレスで接続確認をお願い致します。

なお、本切り替え完了後の SPD (SharePointDesigner)、FrontPage での編集作業で (1/8～) サイトを開く場合は、お名前が同様に olff.net/ ではなく ina-ikigai.net/ となります。皆様にはお手数をお掛けしますが URL を変更のうえ編集作業を実施して頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

以上。]

●専科一期自HP（21年度）は、伊奈いきがいネットクラブ会長の鈴木進さんに立ち上げていただき、自治会活動1年間の活動記録等の掲載もお世話になり、感謝あるのです。



思い出の学園生活

彩の国いきがい大学第一期専科コース校友会のサイトへようこそ

いきがい大学伊奈学園専科コースの学生は、平成22年3月15日に卒業しました。今後は、学園での学習成果を活かし、地域に社会に活動の場でお目にかかることを楽しみにしております。今後もご指導よろしくお願い申し上げます。

なお、専科コースのホームページは「専科1期の校友会」ページとして、引き続きみなさまへの情報発信をしてゆきますので、在学中同様よろしくお願い申し上げます。。

H22.3.15ホームページ委員一同

いきがい大学伊奈学園専科コースは、平成21年度から開設された一年制課程コースで、従来の一年制課程よりも、より実践的な学習につとめ、社会の変化に対応できる能力を身につけ、社会参加による生きがいを高め、卒業後は地域活動のリーダーとして、活躍することを目的としています。

わたくし達は、専科コースの学生として、①学習 ②学生自治会活動 ③クラブ活動の3つを通して、いきがいと活動の喜び、仲間づくり、そして学習の成果をこのページに掲載してゆきます。

高齢化社会にあって、元気に活動するわたくし達を、レポートしてゆきますので、おたのしみこ！



いきがい大学入学式



いきがい大学伊奈学園



始業式

いきがい大学の入学式は4月17日さいたま市文化センターでおこなわれました。専科の始業式はいきがい大学伊奈学園(県民活動センター：伊奈町)で4月20日におこなわれました。

・ゴルフ好きのあなたに「伊奈ゴルフクラブ」から会員募集です。	H22.3.19
・ <u>専科1期生終業式行われる。3月15日には卒業式がありました(3月9日ゼミ2)</u>	H22.3.10
・ <u>第1回いきがい大学伊奈学園ボランティア活動発表会(イナ・ヴォイスフェスティバル)2月5日開催</u>	H22.2.19
・ <u>上田知事も駆け付け支援された、彩の国・浮きウキフェスタで浮島作りに参加しました。</u>	H21.11.8
・ <u>第20回学園祭、華やかに開催(H21.10.21,22)</u>	H21.10.24
・ホームページ委員が、ホームページの技術習得の講座を受講。(夏季休暇中の講習会で猛特訓)	H21.8.12
・ <u>「みんなの広場」を開設。皆さんのホットなニュースを掲載します。</u>	H21.7.14
・ <u>専科1期自治会総会開催(H21.5.26)</u>	H21.5.26
・ <u>一年制専科コースの新たな仲間達が始動</u>	H21.4.20
・ <u>彩の国いきがい大学入学式举行</u>	H21.4.17

ページのトップへ

●彩の国・浮きウキフェスタ (H21. 11. 08)

「浮島づくり」に参加しました。11月8日に行われた「彩の国・浮きウキフェスタ」は、川の再生をテーマに権現堂公園で催されました。伊奈学園いきがい大学の有志は「浮島づくり」に参加しました。14期生・本田さん（さつて市民境ネット代表）のお誘いで実現したものです。20期・中山さんの的確な指導により、見事な浮島が出来上がり男女20名は気持ちのよい汗をかかせていただきました。午前の部で8基、午後の部では6基の浮島が完成しました。この浮島は、行幸湖（権現堂調整池）の水質を改善するとともに、水中生物のオアシスになることでしょう。H21. 11. 08 文・写真 HP 委員 田中忠



本田浮島づくりの総監督



3.5m6本の杉と13本の猛宗竹の筏



袋にはアシの根と木炭



筏完成まじかです

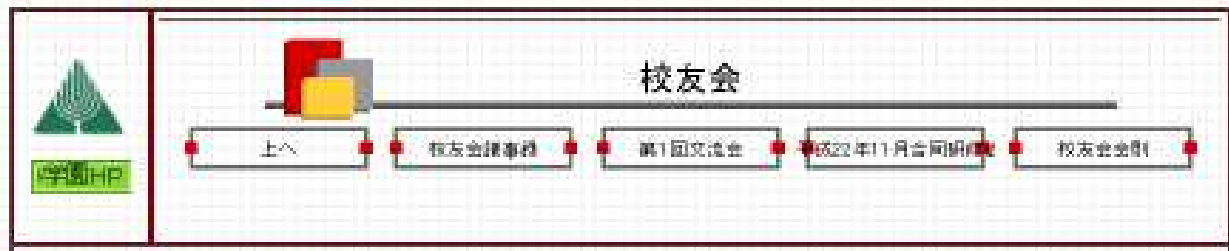


大勢乗ってもこのとおり、頑丈です



上田知事も駆け付け水の大切さを力説

●平成22年度校友会HP（今年度も鈴木さんにはお世話になりました）



ごあいさつ

H22. 5. 3

専科第1期校友会会長 田中 忠

1年間の学園生活を経て、高齢ではあるが同じ釜の飯や弁当を食った仲間として自然と友情ができました。今後の行く先や活動に違いがあっても、親しく楽しく長く自由闊達に交流できることでしょう。

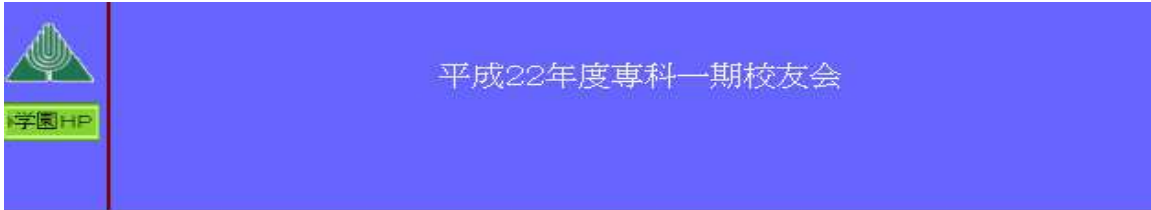
専科1期校友会は、伝統を作るという役目が否応なくあります。学園の皆さんからも注目されていることでしょう。荷が重いと感じますが、みなでその役目を果たしていきます。



平成22年度・伊奈学園専科第一期校友会 役員一覧表

コース別	理事	役職	担当部署	伊奈連役員他
健康づくりコース	鈴木暁子		総務部	
	塙 恒雄	副会長	総務部長	代議員
	平田裕康	会計	総務部	
	星澤恵美子	会計	総務部	
	吉橋佳子		総務部	
郷土を知るコース	相場恒夫		企画部	
	大阿久聖一		広報部長	
	北氏和雄	副会長	企画部長	
	田中 忠	会長		理事
まちづくりコース	松野吉光		広報部	
	伊藤八重治		社会活動部	
	小金澤憲男	副会長	社会活動部長	理事
	瀧澤正高		社会活動部	
	蔦川忠義		社会活動部	
イナ・ヴォイス委員 健康	大友 武		社会活動部	大友・原井
イナ・ヴォイス委員 郷土	吉野利美子		社会活動部	有村・吉野
イナ・ヴォイス委員 まち	玉置貞明		社会活動部	伊藤・玉置
HP委員 健康	伊藤盛夫		広報部	伊藤・桑原・塙
HP委員 郷土	岡村昭則		広報部	天谷・岡村・田中
HP委員 まち	山田宏明		広報部	久保田・高平・山田
グランドゴルフクラブ	小金澤憲男	まち		
卓球クラブ	熊倉 晃	郷土		
朗読クラブ	吉野利美子	郷土		
太極拳クラブ	安藤允浩	郷土		
陶芸クラブ	小林健一郎	郷土		

●平成22年度校友会HP（掲載等については自分たちで行うようになりました）



こころよりお見舞い申し上げます。

いきがい大学伊奈学園専科第1期の学生は、平成22年3月15日に卒業しました。今後は、学園での学習成果を活かし、地域に社会に活動の場でお目にかかることを楽しみにしております。今後ご指導よろしくお願ひいたします。

なお、専科コースのホームページは「専科1期の校友会」ページとして、引き続きみなさまへの情報発信をしてゆきますので、在学中同様よろしくお願ひいたします。

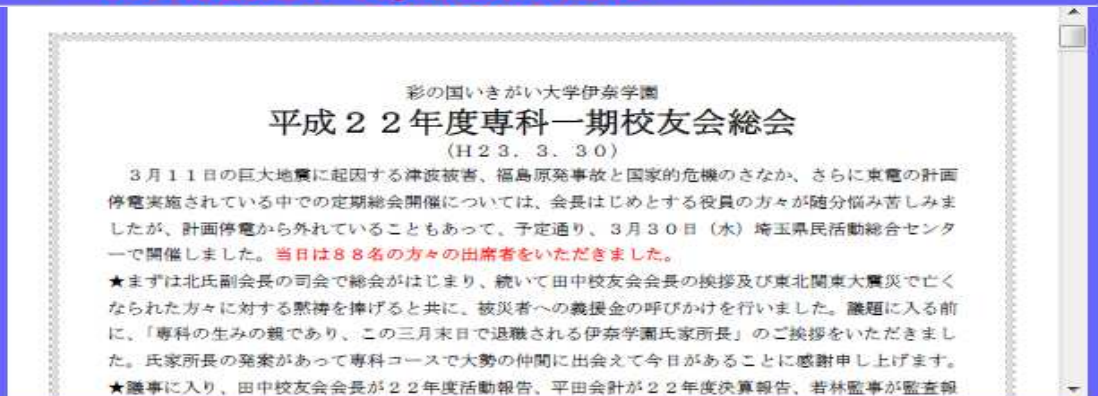
H22.3.15ホームページ委員一同

いきがい大学伊奈学園専科コースは、平成21年度から開設された一年制課程コースで、従来の一年制課程よりも、より実践的な学習につとめ、社会の変化に対応できる能力を身につけ、社会参加による生きがい高め、卒業後は地域活動のリーダーとして、活躍することを目的としています。

わたくし達は、専科コースの学生として、①学習 ②学生自治会活動 ③クラブ活動の3つを通して、いきがいと活動の喜び、仲間づくり、そして学習の成果をこのページに掲載してゆきます。

高齢化社会にあって、元気に活動するわたくし達を、レポートしてゆきますので、おたのしみ！

★3月30日専科第1期校友会「第1回定期総会」開催される
「総会で、東北関東大震災募金 ¥51,832円のカンパ集まる。皆さんに感謝！！」



ニュースヘッドライン（イベント情報他）	掲載月日
★いきがい大学伊奈学園専科第一期校友会HP掲載情報を発行いたします。	H22.12
・平成22年度伊奈連協「合同研修会」開催報告	H22.11.26
・ボランティア活動発表会に「はくつるの会」優雅に楊名寺太極拳を舞う	H22.10.22
・専科1期交流会盛大に開催	H22.8.25
・校友会から「ミニミニ通信第一号」発行のお知らせ	H22.5.20

お知らせ

校友会⇒下記4項目のみアーカイブに掲載	クラブ⇒23年度HPに全て掲載
◇第一回交流会	◇「卓球クラブで宿泊合宿」(H23.2.21)
◇次期専科校友会への移行(第1～6回理事会議事録2.18)	◇太極拳(はくつるの会)新春ハイクング報告H23.4.13)
◇H23連協合同研修会成功裏に開催。(H22.11.26)	◇「第16回合同墨彩展」墨彩クラブ作品(H23.2.17)
◇自治会役員紹介・規約・年間活動計画を掲載	◇「卓球部」新春ボーリング大会(H23.1.17)
	健康コース「手話ダンスクラブ」近況報告
	◇22年度活動報告「パソコンクラブ」(H22.6.20)
◇自治会役員紹介・規約・年間活動計画を掲載	◇22年度活動報告「陶芸クラブ」(H22.6.15)

●平成23年度専科一期校友会HP（自分たちで立ち上げたHPです）

平成23年度専科一期校友会



H23.3.11の東日本大震災を忘れずに、これからも支援していきましょう！

[校友会](#) [みんなの広場](#)

下記一覧表の各項目をクリックして下さい

専科一期校友会年間事業案内(●実施済)


4月15日 ●第1回理事会	11月18日 ●第20回合同研修会
5月 7日 ●専科校友会ウォーキング	12月 9日 ●第5回理事会
5月19日 ●専科二期学習会後援	1月20日 ●専科校友会音楽会
6月10日 ●第2回理事会	1月25日 ●新年会 東天紅
7月20日 暑気払い懇親会(台風のため延期・新年会を予定)	2月10日 ●新旧理事会
8月12日 ●第3回理事会	2月 17日 ●専科校友合同グラウンドゴルフ創設大会
10月14日 ●第4回理事会	3月 7日 ●専科校友合同学習会県活センター
10月31日 ●日帰りバス旅行長野県松代町文化遺産巡り	3月 9日 ●新旧理事会・臨時会
10月21日 ●ボランティア活動発表会	3月21日 ●会計監査・引継ぎ
11月 6日 ●県活いきいきフェスティバル	3月30日 定期大会

<p>★校友会⇒23年度アーカイブに全て掲載</p> <p>▼専科一期・専科合同事業関係はここをクリック</p> <p>▼専科合同学習会「放射能の影響について」(H24.3.7)</p> <p>▼校友会第2回交流会(H24.1.25)</p> <p>▼専科合同音楽会(H24.1.20)</p> <p>▼第20回合同研修会(H23.11.18)</p> <p>▼校友会第1回バス旅行(10/31)</p> <p>▼第2回ボランティア活動発表会(H23.10.21)</p> <p>▼専科合同学習会「心を語る」報告(H23.5.21)</p> <p>▼校友会第1回定期総会(H23.3.30)</p> <p>★みんなの広場⇒23年度アーカイブに全て掲載</p>	<p>★クラブ活動⇒全て継続して現HPに掲載</p> <p>▼手話ダンスクラブ活動報告</p> <p>◇H24年手話ダンスだよりにここをクリック</p> <p>◇H23年手話ダンスだよりにここをクリック</p> <p>◇H22年手話ダンスだよりにここをクリック</p> <p>◇</p> <p>▼太極拳クラブ活動報告</p> <p>◇はくつるの会23年度総会ここをクリック</p> <p>◇H24年はくつるの会ハイキングここをクリック</p> <p>◇H23年はくつるの会ハイキングアーカイブ</p>
---	--


●専科校友会HP立上げ（鈴木進さん、専科1期と2期HP委員が1年近く検討して立上げました。）

 校歌	専科校友会		
	専科一期	専科二期	専科三期
専科合同クラブ活動 ハイキング 豊 彩 グラウンドゴルフ 樹道ウォーク	今年も皆さんの力で専科校友会のホームページを充実させましょう。		
学園関連サイト 伊奈学園 在校生 校友会 伊奈連絡 イナ・ヴォイス いきがいネットクラブ	<p>★いきがい大学伊奈学園専科コースは、平成21年度から開設された一年制課程コースで、それまでの一年制課程よりも、専門別に特化して、より実践的な学習につとめ社会の変化に対応できる能力を身につけ、社会参加による生きがいを高め、卒業後は地域社会のリーダーとして、活動することを目的として設置されました。私たちは専科コース在学中には、学習、自治会活動、クラブ活動及びイナ・ヴォイスやネットクラブ活動等をおして多くのことを学びました。 ★</p> <p>卒業後は校友会を立上げ、伊奈学園校友会連絡協議会へ参加すると共に、卒業生の多くは専科コースで学んだことを実践すべく、様々な分野で地域活動に参加し活動しています。校友会としては、専科コースのHPの充実を図りながら、高齢化社会の中で活動する卒業生の姿をレポートし、会員のみならずへ情報発信してゆきますので協力を宜しくお願いします。</p>		
地区OB会 いきがい愛の会 伊奈さいたま会 東部地区OB会 まろにえ会 彩典会 いきがいコスモス会			
その他リンク 東松山学園	入学式	いきがい大学伊奈学園	修業式

お花見ウォーキングのご案内



専科2期・3期校友会の皆さんも、
どうぞ、
一緒にご参加を！！



div.style58
 この度、校友会では陽春のウォーキングを開催します。

今年のお花見は遅れそうですが…。今回の見どころは珍しい黄花の桜、見沼代用水や芝川の桜並木、決定版は大宮公園の絢爛たる桜でしょう。

兎に角、人が集まり、笑顔で、楽しい、愉しいウォーキングになればと思っています。そこで、専科2期、3期校友会にも呼び掛け、実施し専科全体の校友会行事として定着できればと願っています。

つきましては、ウォーキングの開催を下記のとおり企画しましたのでお仲間をお誘いして、気軽にご参加いただければ幸いです。

記

1. 日 時 4月 9日（月） 午前10時～13時半頃

2. 集合場所 JR土呂駅東口

●平成24年8月23日、このHPをベースに専科2期の双田さんがリニューアルしました。



彩の国 いきがい大学 伊奈学園 専科校友会

いきがい大学伊奈学園	専科1期	専科2期	専科3期
10月24日(水)	卒業生	2007年度	



＜行事予定＞
 卒業生交流会(10/30開催)
 第10回伊奈高経協(学生)とOBとの交流大会(11/14 大会27)
 第三回サテライト運動会(伊奈高経協)開催(10/20)

＜和気あいあい楽しめました＞
 専科各団体交流会(交流会)開催しました。(開催日:2012年6月4日)
 卒業生交流会(交流会)開催しました。(2012年4月4日)



専科校友会の紹介
 いきがい大学伊奈学園専科コースは、平成11年度から開設された一年制課程コースで、それまでの一年制課程よりも、専門性に特化して、より実践的な学習に力を入れ、社会の変化に対応できる能力を身につけ、社会参加による生きがいをもつ、卒業後は地域社会のリーダーとして、活動することを目的として設置されました。私たちは専科コース在学中は、学園、自治会活動、クラブ活動及びボランティアやネットクラブ、勤労などを通して多くのことを学びました。
 卒業後は様々な業種へ、専攻分野の専攻領域の現場へ進出すると共に、卒業生の多くは専科コースで

専科コース
 専科1期
 専科2期
 専科3期
 専科4期
 専科5期
 専科6期
 専科7期
 専科8期
 専科9期
 専科10期
 専科11期
 専科12期
 専科13期
 専科14期
 専科15期
 専科16期
 専科17期
 専科18期
 専科19期
 専科20期
 専科21期
 専科22期
 専科23期
 専科24期
 専科25期
 専科26期
 専科27期
 専科28期
 専科29期
 専科30期

OBの活動紹介

ホーム	専科1期校友会	専科2期校友会	専科3期校友会	専科4期校友会	専科5期校友会	専科6期校友会	専科7期校友会	専科8期校友会	専科9期校友会	専科10期校友会	専科11期校友会	専科12期校友会	専科13期校友会	専科14期校友会	専科15期校友会	専科16期校友会	専科17期校友会	専科18期校友会	専科19期校友会	専科20期校友会	専科21期校友会	専科22期校友会	専科23期校友会	専科24期校友会	専科25期校友会	専科26期校友会	専科27期校友会	専科28期校友会	専科29期校友会	専科30期校友会
-----	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

- ホーム
- 専科1期校友会
- 専科2期校友会
- 専科3期校友会
- 専科4期校友会
- 専科5期校友会
- 専科6期校友会
- 専科7期校友会
- 専科8期校友会
- 専科9期校友会
- 専科10期校友会
- 専科11期校友会
- 専科12期校友会
- 専科13期校友会
- 専科14期校友会
- 専科15期校友会
- 専科16期校友会
- 専科17期校友会
- 専科18期校友会
- 専科19期校友会
- 専科20期校友会
- 専科21期校友会
- 専科22期校友会
- 専科23期校友会
- 専科24期校友会
- 専科25期校友会
- 専科26期校友会
- 専科27期校友会
- 専科28期校友会
- 専科29期校友会
- 専科30期校友会

OB 校友会の活動をご紹介します。

いきがい大学伊奈学園を卒業した校友会では、各年次ごとに、ホームページを立ち上げています。
 各期校友会の活動の様子は、それぞれのホームページを訪れてください。

- 1 2期校友会
- 1 3期校友会
- 1 4期校友会
- 1 5期校友会
- 1 6期校友会
- 1 7期校友会
- 1 8期校友会
- 1 9期校友会
- 2 0期生校友会
- 2 1期校友会

専科校友会 (専科コース卒業生の総合サイト・専科各期の入口です)
 【専科1期校友会 専科2期校友会 専科3期校友会】

専科校友会合同サイトを開設！

平成24年9月、2年半にわたる専科校友会サイト開設検討委員会の検討結果に基づき、伊奈学園ホームページ（HP）の「OBの活動紹介」サイトには、2年制各期の入り口と共に専科各期に入るリンクを廃止して新たに「専科校友会」へのリンクを設置しました。このサイトは専科各期HPの入口であると共に、専科合同で行う行事の予定や結果報告の記事と、共同事業をまとめて各サイトへ入りやすくなるようにリンクが設定されていますので各期にこれらのリンクボタンを設定する必要がなくなりました。入口は統一しましたが、各期のHPは従来どおりに各期で編集していくことになります。

この構想は、二年制課程の伊奈学園に、追加して一年制課程の専科コースが設置されたので、伊奈学園HPを管理している伊奈ネットクラブが専科コースについては、マンション形式で行くことが適切であると打ち出していたものです。それを実現すべく一期～三期HP委員が参加して検討した結果、このたびは目を見るに至りましたので、これまでの検討委員会を発展的解消し、下記の「いきがい大学伊奈学園専科校友会HP連絡会」を設置し継続して専科校友会HPの充実に努めていくことにしました。（H24.10.5）

いきがい大学伊奈学園専科校友会HP連絡会決めごと

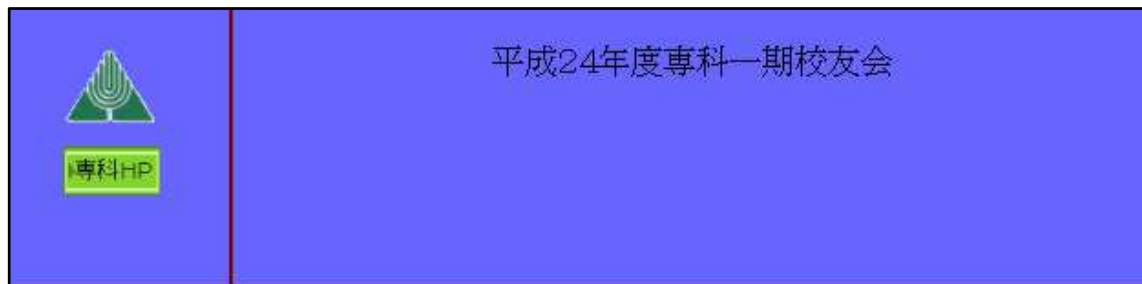
★H24.9月に専科校友会HPの入口を一本化したことにより、これまで2年半にわたり一本化の検討に参加した1期、2期、3期の各期HP委員による検討会を発展的解消し、以後、専科校友会HP連絡会として存続させて、専科校友会サイトの維持管理にあたることにします。

★専科校友会サイトについて、今後、問題点が出てきた場合は、Web連絡会に参加している各期HP委員で話し合うことにします。その中で「全体で討議しなければならないもの」は、専科校友会HP連絡会を開いて検討し、その結果をHPに生かしていくものとします。その際は伊奈学園HP編集委員長にも出席していただき、アドバイスを求めることにします。

★専科校友会サイトの管理は、専科合同事業、伊奈連絡事業、県連絡事業の実施計画のお知らせ及び実施報告の掲載が中心で、落着くまでの暫らくの間は、二期HP委員長の双田が担当し、一期HP委員がバックアップすることとします。

★各期HP委員は、これまでのように会員方々の協力を得て、それぞれの期のHPを充実させていくことにします。

★専科校友会HP連絡会は、各期校友会会長出席の下、毎年5月に新たな専科卒業期の校友会会長及びHP委員に出席していただき開くことにします。これまでの専科校友会の合同事業と合同クラブ活動をするに至った経過や、専科校友会サイトの作成経過を説明し、合同事業等や専科校友会HP連絡会への参加をお願いすることにします。



今年も東日本大震災で被災された方々を

新年ご挨拶

専科第1期校友会 会長 角田 進



明けましておめでとうございます。会員の皆様には、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年4月の就任以来、2年制校友会との重複会員が誕生したことを踏まえ、何とか専科1期校友会に所属することの価値を高めようと頑張ってきました。1つは制度上の改善策で、伊奈連協と県連協への会費について、重複会員は専科の分を免除することを連協の皆様にご了承いただきました。2つ目は、本会のモットーを「気軽に楽しくおおらかに」と定め、お花見ウォーキングに始まり、音楽会、暑氣払い、日帰りバス旅行に古河史跡めぐりウォーキングと、専科2期、3期との合同開催も含め、さまざまな催し物を展開してきました。お楽しみいただけましたか。

さて、本会の平成24年度活動もあと3か月となりました。私たち理事会では3月に県連協主催で行われる第1回芸能祭への対応と、4月からの新しい体制にスムーズな引継ぎをするべく、準備を進めているところです。今後も引き続き、本会の活動が皆様の充実した生活の一部となりますよう、役員一同つとめてまいります。皆様におかれましても、本会のますますの発展にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年が皆様にとってさらに良き年となりますようお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



専科1期校友会会員参加・年間事業案内(●実施済・下線クリック)

3月30日 ●平成23年度専科1期校友会定期総会報告	10月30日 ●第4回専科校友会合同ハイキング報告
4月09日 ●第3回専科校友会合同ウォーキング	11月04日 ●県活いきいきフェスティバル太極拳クラブ参加 全体の案内と写真は21期HPへ
4月13日 ●第1回理事会	11月05日 ●伊奈連協社交ダンスの集い
6月01日 ●専科1期校友会だより第1号	11月16日 ●第21回合同研修会報告
6月04日 ●専科合同音楽会専科1期主管	12月12日 ●第二回公開学習内容
6月15日 ●第2回理事会	12月14日 ●第5回理事会
7月23日 ●暑氣払い懇親会報告	1月05日 ●第5回専科校友会合同ハイキング報告
8月10日 ●第3回理事会	2月15日 ●第6回理事会
9月07日 ●第15回伊奈連協グラウンドゴルフ交歓大会 (16名参加)	3月08日 ●県連協第一回芸能祭報告 NEW!!
10月05日 ●県連協ダンスの集い(4名参加)	3月15日 ●第7回理事会 NEW!!
10月12日 ●第4回理事会	4月12日 第8回理事会
10月23日 ●日帰りのバス旅行報告	4月19日 第3回定期総会のお知らせ NEW!!
10月24日 ●県連協グラウンドゴルフ交歓大会写真(5名参加)	
10月26日 ●ボランティア活動発表会	

★校友会

- ◇校友会ニュース3月号(H25.3.31) NEW!!
- ◇校友会第7回理事会報告(H25.3.16) NEW!!
- ◇校友会ニュース2月号(H25.2.28) NEW!!
- ◇校友会第6回理事会報告(H25.2.17) NEW!!
- ◇会員の継続のお願い(H25.2.15) NEW!!
- ◇第3回定期総会のお知らせ(H25.2.15) NEW!!
- ◇校友会ニュース1月号(H25.2.1) NEW!!
- へ校友会だより第2号発行(H25.1.1)

★その他・新着情報

- ◇専科1期校友会会員参加民話の会旗上げ口演
(H25.2.15) NEW!!
- ◇県連協第一回芸能祭プログラム(H25.2.14) NEW!!
- ◇イナヴォイス第31号発行(H25.2.1) NEW!!
- ◇イナヴォイス第30号発行(H24.12.14)
- ◇県連協第一回芸能祭報告(H25.3.8) NEW!!
- ◇第二回公開学習内容(H24.12.12)



ましよう

新年のご挨拶

専科第1期校友会 会長 田中 忠



明けましておめでとうございます。会員の皆様には、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

この一年、校友会の運営に関しまして会員のみなさまには多大なご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。振り返りますと、専科コースは年々会員の減少が著しくなることから、校友会活動の停滞も考え、組織防衛のために、皆様のご協力により伊奈連協の退会を決めさせていただきました。校友会行事の「暑気払いと日帰りバス旅行」も多くの会員の参加をいただき無事に終わることができました。

これまで実施してきた合同の学習会や音楽会は、専科二・三期の伊奈連協退会を契機に取組も参加者実費徴収型事業に変わりましたが、今年度は専科一期主催で2月26日に講演会を開く予定です。昨年11月、初めて専科校友会合同グラウンドゴルフ大会を実施し、一期から四期まで合わせ29名の参加をいただき成功裏に終わりました。今後も引き続き、本会の活動が充実したものになりますよう、役員一同努めてまいりますのでご支援ご協力をお願い申し上げます。今年が皆様にとってさらに良き年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

25年度専科一期校友会会員参加・年間事業案内(●実施済・下線グリッド)

4月19日 ●平成24年度専科一期校友会定期総会報告	11月01日 ●第一回専科校友会グラウンド・ゴルフ大会
4月25日 ●第1回理事会	11月04日 ●県活いきいきフェスティバル 木橋菜出場
5月09日 ●第一回専科各期校友会及びHP連絡会	11月15日 ●臨時総会 ●合同研修
5月21日 ●専科合同ハイキング	11月18日 ●伊奈連協社交ダンスの集い 北氏、玉置さん出場
5月24日 ●第2回理事会	12月2日 ●グラウンドゴルフ県連協大会 山崎高三郎、内田純子さん出場
6月01日 ●専科一期校友会だより第1号	12月11日 ●第2回公開学習会報告(能谷学園HPより)
6月21日 ●第3回理事会	12月20日 ●第6回理事会
7月02日 ●暑気払い総親会	2月03日 ●第19回合同展覧展 玉置 貞明さん 出品
7月16日 ●第1回公開学習会報告(伊奈)	2月26日 ●第7回理事会
7月16日 ●第二回専科合同グラウンドゴルフ大会	2月26日 ●藤吉次郎氏講演会
8月23日 ●第4回理事会	3月07日 ●県連協第二回芸能祭
9月26日 伊奈連協グラウンドゴルフ大会 天候不順で中止	3月20日 ●第8回理事会
10月04日 ●県連協ダンスの集い 北氏、玉置さん出場	4月11日 ●第9回理事会
10月17日 ●第5回理事会	4月18日 ●第4回定期総会
10月25日 ●ボランティア活動発表会 手話ダンス出場	
10月29日 ●日帰りバス旅行(小諸懐古園外)	

★校友会

- ◇定期総会資料(案)(H26.4.11)
- ◇講演会(H26.2.26)
- ◇緊急アップデート(H26.2.10)
- ◇会員継続のお願い(H26.2.7)
- ◇臨時総会(H25.11.15)

★その他・新着情報

- ◇伊奈ボランティアニュース35号 (H26.3.14)
- ◇手話ダンス同好会活動が紹介されています
- ◇イオニス・ボランティア活動同好会第25年展 (H25.7.25)
- ◇手話ダンスクラブ・本橋菜クラブの2団体が登録
- ★クラブ活動
- ◇伊奈連協各期専科団体

●第1回専科校友会HP連絡会開催（H25.5.9）

第1回専科校友会・HP委員連絡会報告

5月9日、専科一期から四期までの校友会会長及びHP委員長等が参加（一期4名、二期1名、3期4名、4期4名）して、専科校友会HP連絡会が開催されました。

●HP連絡会で話し合ったことは次のとおりです。各自に配布した添付資料を見ながら

- 1、専科校友会統合サイトの立ち上げまでの経過を説明。
- 2、伊奈いきがネットクラブ組織と専科校友会HPのつながりを説明。
- 3、専科各期サイト編集責任者一覧表作成（岡村）について、確認のとれていない四期に提出を依頼した。
- 4、専科校友会統合サイトに掲載すべきと思われる情報提供を三期、四期に呼びかけをした。
- 5、新たな卒業期校友会の在校時のHPを校友会HP切り替えに支援が必要な場合は、一期から三期HP管理人から協力する旨の了解をいただいているが、四期HPについては、その心配はない。

アドバイスしたのは、専科校友会HPを新たに立ち上げる時は、ボタンの数を少なくすることを検討する必要があること。（一期から三期までコース別を廃止して「みんなの広場」に統合していること）

- 6、専科合同クラブ（ハイキング、グラウンドゴルフ）主催事業については、各期HPへの掲載要請をしたところ、各期校友会会長から掲載OKの了解をいただいた。
- 7、情報交換の場として必要があれば随時開くことを確認した。

●専科校友会連絡会で話し合ったことは、次のとおりです。

- 1、各期校友会の会員数紹介、1期＝88名、2期56名、3期78名、4期110名
- 2、昨年度までの合同事業（事業相乗り）や合同クラブを実施に至った経過を説明した後、各期の考え方を聞いたところ、校友会会費にバラつきあることがわかった。
1期2000円（ダブル会員1700円）、2期1000円、3期1500円、4期2000円

★一期＝これまでの専科合同事業を2年間続けたので、後輩期の事業に相乗りできたらと思っているのが本音。

★二期＝会費も安く、会員も少ないのでHPを維持することが精一杯で会費を出し合っただけの合同事業を行うだけの余力はない。経費のかからない合同事業ならば参加する。合同クラブ企画の参加者実費のような活動には参加する。

★三期＝専科三期校友会活動が第一優先である。他期の事業に相乗りはしない。合同クラブ企画事業のような参加者実費形の合同活動に個人が参加するのはOK。HPへのPRもOK。

★四期＝三期前校友会会長から色々アドバイスを受けたが、はじめてのことなので当面は静観したい。参加者実費形の合同活動に個人が参加するのはOK。HPへのPRもOK。

- 3、伊奈連協の加盟問題については、各期から意見が開陳された。

- ★一期も会員の意向調査を実施し、退会が過半数を超えれば来年度は退会する予定。
- ★二期から25年度校友会役員のみ手がいなかったため、校友会解散するところまで追いつめられた。校友会を守るために退会した旨が報告された。
- ★三期＝専科三期校友会活動が第一優先であることから、負担のかかる伊奈連協から退会した。新役員は全員が退会に賛成した。
- ★四期＝三期前校友会会長からアドバイスを受けたが、初めてのことなので今年は、伊奈連協に参加して様子を見ることにしたが、今日の総会で会長の挨拶から専科に対する冷たい視線を感じた。来年どうするか来年の役員に託したい。
- ★四期から伊奈連協に加盟していることのメリットは何か質問が出る。
今年度は二つに限られている。
 - ①県連協主催グラウンドゴルフ大会に出場の予選会に出られること。
 - ②合同研修の小ホールのイベントを観覧できること。※社交ダンスは伊奈学園卒業生にオープンにしたことで伊奈連協に加盟に関係なく、親睦ダンスの集いに出られる。
- ★専科一期校友会HP管理人が伊奈連協に公開質問状や組織改革案を提出し、HPに掲載したことで伊奈連協関係者が目くじらを立てていることも説明したが、組織を守る立場から二期、三期は既に退会していることもあってか、私の考え方を共有していることもあってそれほど話題にはならなかった。

4、今後の専科校友会連絡会について決まったこと。

これからの校友会活動について各期の考え方を開陳してもらったところ、専科合同クラブ事業は別にして、校友会予算を使う専科校友会合同事業（音楽会、学習会）の開催は難しいことがわかった。

また、参加者実費形の合同事業については各期ともOKよとも受け取れるので、そこで新しい形の専科校友会合同事業を創出する必要がある。

★各期校友会会長等の話し合いの場の設置を提案して合意が得られた。

★3ヶ月に一度話し合いの場を持ちテーマを定めて検討することになった。

なお、合同クラブ企画については、自由参加なので各期HPでPRすることの了解が正式に得られた。

以上

平成 25 年度

第 1 回 Web 連絡会

平成 25 年 5 月 17 日 (金)
県活センター 207 室
伊奈いきがいネットクラブ

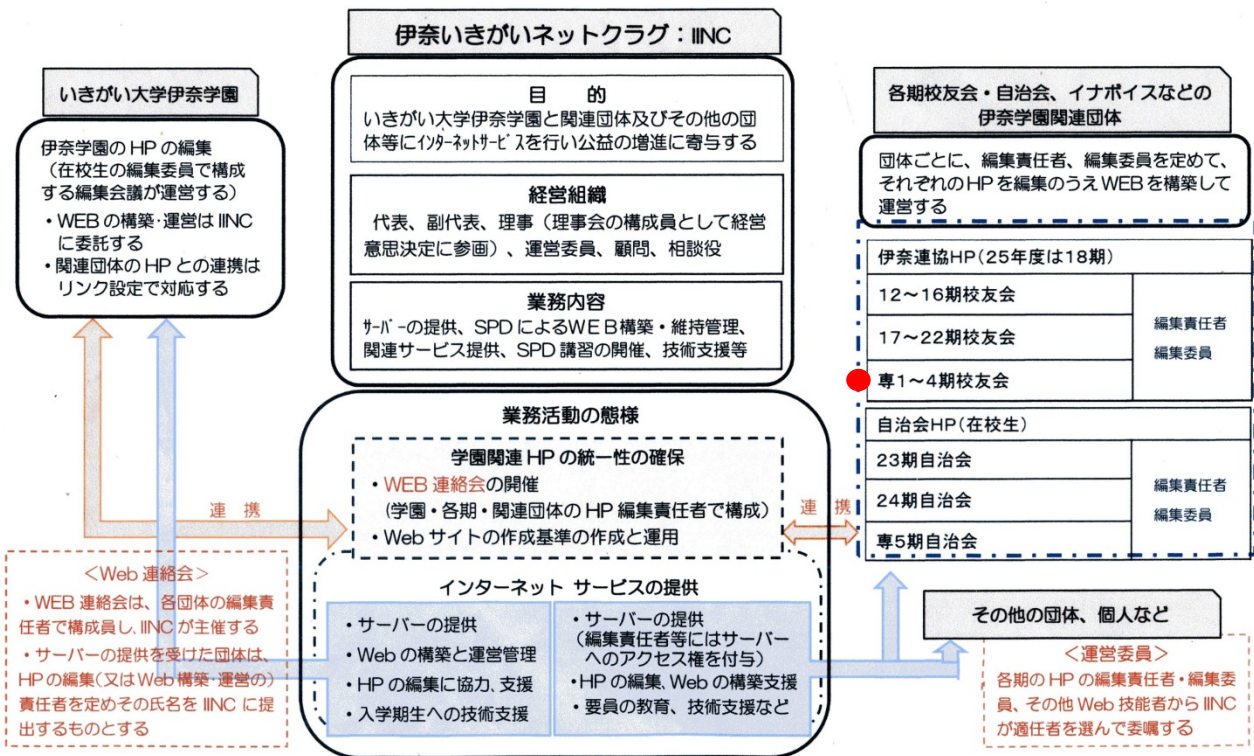
1. 理事長挨拶

2. 議 題

- (1). 組織運営と体制について
- (2). 25年度事業について
- (3). 25年度予算について
- (4). アクセス権について 他

3. その他

1 : IINC の新しい運用方式の概要



アクセス権保有者一覧(Web編集委員)web-site

凡例:

2013. 5.10現在(遠藤)

1. SA(又はA)=(Super) Administrator: サーバーに関する設定を一元的に行う。⇒中島・遠藤
2. AA(技術支援)=Advanced Author: 各期のWebページ編集の技術支援を行う。⇒大野・鈴木・上野<編集長:鈴木>
3. AA(Web編集正副代表者)=Advanced Author: 各期のWebページの編集を行う(原則正副代表者2名)
4. A(ページ編集)=Author: 各期のwd又はWorkDeskを使用してページの編集を行う。

	URL	AA(技術支援)	AA(Web編集者正副代表)	A(ページ編集者 wd-/WorkDesk)	備考
1	olff.net/ina13	大野・鈴木・上野	田中健・杉田	小出、召田、佐藤久、	wd-ina13
2	olff.net/ina15	大野・鈴木・北	遠藤・梶浦	佐野、鈴木節、佐々木、林、金子敏、島村、加地、永田	wd-ina15
3	olff.net/ina16	〃	対尾・西原	渡辺省	wd-ina16
4	olff.net/ina17	〃	(鈴木・大野)		wd-ina17
5	olff.net/ina18	〃	蔵谷・上野	中畔、伊津野、篠田、高山、町田、葛和、福島、新井哲、工藤	wd-ina18
6	olff.net/ina19	〃	河野・鮫島	井山、小団扇、武藤、高橋久、湯ヶ谷、中里、上田、小林	wd-ina19
7	olff.net/ina20	〃	(北)・皆元	松本、高世、大里、中野、大澤、平尾、小田	WorkDesk
8	olff.net/ina21	〃	関・小澤	矢崎、野村、三浦、鈴木玉、徳永、菅沼、瀧澤、多田	WorkDesk
9	olff.net/ina22	〃	山口・富川	春山、塩谷、土屋、仲田、河井、立花、倉林、八重樫、吉澤、原	WorkDesk
10	olff.net/ina23	〃	平澤・野川	木村、熊谷、高橋、田中静、江原良、蒔苗、石井、小室、島村 佐藤啓、金田	WorkDesk
11	olff.net/ina24	〃			WorkDesk 新規
12	olff.net/ina-senka01	〃	岡村・田中忠	伊藤、柴原、塙、菱谷、久保田、高平、山田宏	WorkDesk
13	olff.net/ina-senka02	〃	双田・斉藤	出納、河野、磯、島田	WorkDesk
14	olff.net/ina-senka03	〃	森(金田)	林、山田、中込、和氣(野川、熊谷)	WorkDesk
15	olff.net/ina-senka04	〃	加藤昇、山田恵	黒須、本田、岸、渡邊、荒川、中村隆、橋場	WorkDesk
16	olff.net/ina-senka05	大野・上野・小澤			WorkDesk 新規
17	olff.net/ina-senka	〃	双田、田中忠		マンション・ポータル
18	olff.net/inavoice	鈴木・大野・小澤			sub-site化
19	olff.net/inaren	鈴木・大野・北	蔵谷・上野		25年度は18期担当
20	olff.net/seminar25	大野・鈴木・上野・蔵谷・北・小澤・双田・中畔		24期、専科5期 講習会参加者用	25年度期間限定
21	olff.net/IINC	大野・鈴木・北			
22	olff.net/HP	大野・鈴木・北・蔵谷	各個人HP所有者(43名)		全員AA
23	olff.net/sid-ina	大野・鈴木・北	田中健・梶浦・対尾・中畔・蔵谷・河野・北・小澤・山口・岡村・双田・森・加藤		各期代表者AA
24	olff.net/howtoo	〃	中畔・蔵谷		

-6-

日頃は、いきがい大学・伊奈学園ホームページをご覧頂きまして誠に有難うございます。

この度、いきがいネットクラブの運営を引き継ぎ、新たな体制でいきがいネットクラブの運営を担当することとなりました。

学園・校友会・自治会・イナヴォイス等関係の皆様がたには、引き続きのご利用はもとより、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

新体制となりましたが、サーバーサービスの提供を始とする、従来からのサービス提供は勿論のこと、新たな発想のもと楽しいホームページ作りに邁進したいと思っております。

なお、当ネットクラブは、学園WEB構築の外に、各種ホームページの作成支援・講座の開設・メーリングリストの提供、学園以外の団体、個人にも幅広い活動を行っております。

皆様に喜ばれるように、鋭意努力し活動を行なって参りますので、倍旧のご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



鈴木理事長

NPO任意団体 伊奈いきがいネットクラブの構成メンバー

理事長	鈴木 進	
副理事長	遠藤忠男	【総務担当、企画、調整他】
副理事長	大野武男	【WEB部門統括・技術】
理事	中畔秀夫	【総務・サーバー部門統括】
理事	北 文雄	【WEB管理】
理事	蔵谷 昭	【個人ホームページ】
顧問	中島 康博	
監事	河野勝行	【業務監査、財産の監査】

平成25年4月
伊奈いきがいネットクラブ
理事長 鈴木 進

●伊奈連協への公開質問状に対してなんら回答もないのでPDFにしてHPに掲載したことでインターネットに載り、伊奈連協の会長が見て伊奈ネットクラブへ苦情が持ち込まれて、伊奈ネットクラブにご迷惑をおかけしたことから詫び状を入れました。

平成25年5月17日

伊奈いきがいネットクラブ

理事長 鈴木 進 様

専科一期校友会HP委員

岡村 昭則

まずは、専科一期HP及び専科統合サイトに「彩の国いきがい大学伊奈学園校友会連絡協議会」への公開質問状及び組織改革案を掲載したことで、伊奈いきがいネットクラブに多大なご迷惑をお掛けしましたことを心よりお詫び申し上げます。二度とこのようなご迷惑を掛けないことをお誓い申し上げます。

さて、皆様もご存知のように専科コースは、卒業後、半分以上の人が二年制コースに進学し、その方々が卒業されると専科校友会を退会する人も多く、専科校友会の会員数も大幅に減少するという特殊要因があります。

そのことを伊奈学園校友会連絡協議会は配慮することもなく、26年度より連絡協議会活動の中核をなす企画部と広報部の事業担当を専科校友会に割り振りをし、今年2月に初めて開催した県連協の「芸能祭」を伊奈学園校友会連絡協議会が担当する場合、その事業担当を専科3期に割り振りしてきました。

専科各期校友会は役員のみならず手もままならない中で自分達の校友会をどう維持するか四苦八苦しているのに、校友会連絡協議会活動の中核をなす事業担当などは対応できないと専科校友会出身の役員が多くは不満と不安を募らせていました。専科一期校友会出身の役員は、組織改革等について提案してきましたが、ダブル校友会会員の会費が解決したのみで肝心の組織改革は遅々として検討も進まずすべて先送りになってしまいました。

このような状況を何とか打破しないことには専科校友会は守れないと考え、専科一期校友会をデザインした私の持論である「専科校友会を10年間は続ける」ためにも、自分意見を発表することにして、個人的に公開質問状及び組織改革案に資料を添付して、校友会連絡協議会会長あてに二回ほど手紙を送付しました。いずれも手紙が届き読んでいただいた時点での現状説明を期待していましたが、何の返事もありませんでした。そこで伊奈いきがいネットクラブに迷惑を及ぼすことは百も承知の上でHPに掲載させていただきました。ご迷惑を掛けたことが契機かどうかわかりませんが、25年度校友会連絡協議会総会での会長挨拶も専科二期、三期が退会したこともあって専科には冷たい視線だったとお聞きしました。専科各期校友会は連絡会を設置しましたので、合同事業として何が出来るのか検討し取組むことになりました。繰り返しますが、二度と伊奈いきがいネットクラブにご迷惑を掛けないことをお誓い申し上げます。



ていきましょう

新年ご挨拶

専科第一期校友会 会長 葛川 忠 義



明けましておめでとうございます。会員の皆様には、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、大型台風による土砂災害や御嶽山の噴火など自然の猛威にあらためて驚き、地球環境の変化を真剣に考えさせられる年でもありました。

そのような中、専科1期の全体行事は、皆様の積極的なご参加により7月の暑気払い、10月のバス旅行が盛大に催され、専科合同のウォーキング大会2回、11月のグラウンドゴルフ大会といずれも天候にも恵まれ多くの参加者のもと楽しく交流を深めることができました。参加者の皆様と開催実行関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

また、本年2月には皆様に関心の高い年金問題をテーマとした「学習会」を開催予定しておりますので、多くの方々のご参加をお待ちしております。気軽に楽しくおおらかに」をモットーとする専科1期校友会が、全体行事を柱に、クラス会・クラブ活動などの広がりにより、益々その真価を発揮する年になることを願っております。

結びに、今年が皆様にとってさらに良き年となりますようお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

26年度専科1期校友会会員参加・年間事業案内(●実施済・下線クリップ)

4月18日 ●平成25年度専科1期校友会定期総会報告	11月07日 ●第2回専科校友会グラウンド・ゴルフ大会
4月25日 ●第1回理事会	11月03日 ●県活いきいきフェスティバル
5月16日 ●第2回専科校友会及びHP連絡会	11月17日 ●伊奈連協社交ダンスの集い
5月23日 ●専科合同ハイキング	12月10日 ●第2回公開学習会大宮パナソニック
6月01日 ●専科1期校友会だより第1号	12月12日 ●第5回理事会
6月13日 ●第2回理事会	1月1日 ●26校友会だより第2号発行
7月 9日 ●第1回公開学習 大宮パナソニック ●21期公開学習報告 事例に関さん等参加	2月13日 ●第6回理事会 ●学習会報告
7月10日 ●暑気払い総親会	2月7～12日 ●第20回合同県彩画展
8月22日 ●第3回理事会	3月13日 ●第7回理事会
9月29日 ●第8回専科合同ハイキング	4月10日 ●第8回理事会 ●専科合同グラウンドゴルフ部総会
10月10日 ●第4回理事会	4月24日 ●第5回定期総会 総会議案書等
10月29日 ●親睦バス旅行	
10月31日 ●ボランティア活動発表会	

★校友会	★その他・新着情報
◇第5回総会資料(案)(H27.4.14)	◇第1回公開学習報告(H26.7.9)事例発表関さん等参加
◇第3回専科校友会連絡会のご案内(H27.4.1)	◇伊奈ボランティアニュース35号(H26.3.14)
◇第5回定期総会のお知らせ(H27.3.21)	●手話ダンス同好会活動が紹介されています
◇校友会だより等を県活談話コーナーで公開(H27.3.13)	★クラブ活動
◇学習会報告(H27.2.13)	◇専科合同グラウンドゴルフ部総会(H27.4.10)
◇サブハラさんの訃報のお知らせ(H26.12.30)	◇俳句ゆめクラブ活動報告
◇2月13日学習会のお知らせ(H26.12.14)	◇手話ダンス同好会活動報告
◇会員継続のお願い(H26.12.14)	◇はくつるの会ボランティア活動報告
◇親睦バス旅行(H26.10.29)	◇俳句ゆめクラブ活動報告
◇HP閲覧時、最新情報に更新(H26.7.11)	◇卓球クラブ活動報告

●第2回専科校友会HP連絡会開催（H26.5.16）

第2回専科校友会及びHP連絡会

二年制伊奈学園の中に一年生専科コースが創設され、専科を卒業されると二年制に進学される方が半数以上いることから専科校友会として会員の減少、伊奈連協の役割分担の負担等様々な問題が起きています。現実に専科1期から3期まで校友会を維持するために伊奈連協を退会しています。

専科1期校友会は卒業後から専科校友会ホームページや合同事業について検討してきました。専科校友会連絡会事務局を専科一期校友会・岡村広報部長兼HP維持管理人が引き受け、昨年、正式に専科各期校友会の連絡会を立ち上げて専科校友会に関わる問題を検討しています。今年5月16日に第2回専科校友会及びHP連絡会を1期から5期校友会会長及び関係者の出席いただき開催しました。

- 1、専科校友会連絡会事務局（一期校友会・岡村広報部長兼HP維持管理人）の司会挨拶
 - ・各期とも校友会役員は毎年変わるので、専科校友会HP・専科合同事業・専科校友会連絡会等のまとめをした岡村が万年役員をしていることから、それぞれの経過を新しく卒業された期や専科各期の新役員に説明していく役割を担当している。
 - ・専科各期共通の課題は2年制入学者が卒業されると専科校友会会員の激変があることから、専科各期校友会の活動を維持するために専科合同事業が始まった。専科校友会連絡会は専科各期校友会役員の情報交換の場あるので、ここで協力できることは校友会活動の中に活かし1年でも長く校友会活動を続けられれば思っている。これらをベースに会議を進めたい。
 - ・1期から5期までの校友会会長の挨拶と校友会紹介を行う。
専科各期出席役員の自己紹介（15名）を順次に行う。
 - 1期＝蔦川会長、塙企画部長、伊藤HP委員長、岡村広報部長
 - 2期＝双田会長兼HP委員長
 - 3期＝山口会長、熊谷広報部長、沖原企画部長、関総務部長
 - 4期＝太田会長、沼田広報部長
 - 5期＝小杉会長、平山企画部長、小松崎広報部長、三井HP委員長



- 2、第2回連絡会で決まったこと。
 - 情報交換の場として連絡会を今後も続けることを確認した。
 - 合同事業は各期校友会の規模や会費も違うことから各期校友会会費を使っての合同事業は無理なので、参加者実費徴収型の事業で各期とも協力することを確認した。
 - 参加者実費徴収型合同事業案内は各期HPに掲載し会員に呼びかけることを確認した。

(H25.5.16 記録:専科一期校友会・岡村)



専科HP

平成27年度専科1期校友会



今年も東日本大震災で被災された方々を支援していきましょう

ご挨拶

専科第一期校友会 会長 伊藤盛夫



4月24日の定期総会において、27年度の校友会会長に選出され就任致しました伊藤でございます。不慣れでございますが、1年間一生懸命務めさせていただきますので、よろしくお願いたします。専科1期校友会は今年で6年目を迎えることになりました。この間、組織のスリム化を諮り伊奈連協脱退、専科各期との学習会、ウォーキング、グラウンドゴルフ等の合同行事の推進が成されてきました。歴代会長、理事、ホームページ委員・イナボイス委員、クラブ活動責任者の努力、及び会員のご支援・ご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

本年度も年間活動計画を軸に、コース活動、クラブ活動、ホームページ活動と地域へのボランティア活動を実施していきます。本年度は、いきがい大学の制度改正がなされました。伊奈学園も2年制を廃止し、専科課程は第6期で終了して、専攻課程（一年間）、一年制課程になりました。専科1期校友会も会員の減少するなかで、更に専科各期と協力して学習会、ウォーキング、グラウンドゴルフ、音楽会等の合同行事やいきがいネットクラブを有効活用して、ホームページで相互に情報交換し、連携・交流を深めていきます。又、役職の輪番制についても更に検証していきます。専科だからできる「気楽に楽しくおおらかに」をモットーに、事業を進めることにいたします。皆様の積極的な参加とご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

27年度専科1期校友会会員参加・年間事業案内(●実施済・下線グリック)

4月24日 ● <u>第5回定期総会報告</u> 定期総会議案書等	11月20日 ● <u>第3回専科校友会グラウンド・ゴルフ大会</u> NEW!!
4月30日 ● <u>第1回理事会</u>	11月14～15日 ● <u>県活いきいきフェスティバル</u>
5月12日 ● <u>専科合同ハイキング報告</u>	11月16日 ● <u>伊奈連協社交ダンスの集い</u>
5月15日 ● <u>第3回専科校友会及びHP連絡会</u>	12月15日 ● <u>第2回公開学習会大宮パナソニック</u>
5月29日 ● <u>財団いきいき埼玉グラウンドゴルフ大会</u>	12月17日 ● <u>第5回理事会</u>
6月01日 ● <u>27年度専科1期校友会だより第1号</u>	1月01日 ● <u>27年度校友会だより第2号発行</u> NEW!!
6月05日 ● <u>第1回専科合同グラウンドゴルフ部大会報告</u>	2月18日 ● <u>第6回理事会</u> NEW!! ● <u>学習会</u> NEW!!
6月18日 ● <u>第2回理事会</u>	
7月10日 ● <u>暑気払い懇親会</u>	3月18日 ● <u>第7回理事会</u>
7月14日 ● <u>第1回公開学習会大宮パナソニック</u>	4月21日 ● <u>第8回理事会</u>
8月01日 ● <u>戦後70年平和祈念集発行</u>	4月28日 ● <u>第6回定期総会報告</u> NEW!! 定期総会議案書等 NEW!!
8月3～4日 ● <u>専科合同グラウンドゴルフ部夏合宿</u>	
8月20日 ● <u>第3回理事会</u>	
9月16日 ● <u>専科合同ハイキング</u>	
10月22日 ● <u>第4回理事会</u>	
10月29日 ● <u>日帰りのバス旅行</u>	
10月30日 ● <u>第6回ボランティア活動発表会</u>	

第3回専科校友会及びHP連絡会

(H27.5.15)

5月15日に専科1期、2期、3期、6期校友会会長及びHP委員長のご出席をいただき、第3回専科校友会及びHP連絡会を開催した。残念ながら4期は2年制に進学された方の退会が続き、これ以上の退会者を出さないために校友会事業に専念するので専科校友会合同事業には参加しないと連絡してきた。5期は出席する連絡があったが、忘れてしまい今日は不参加となった。

1、出席者の自己紹介の後、式次第に従って6期校友会関係者や3期校友会新役員について、別紙「**専科校友会HP開設経過**」を下に説明していく。

●専科1期校友会～3期校友会は、伊奈ネットクラブの方針としていた専科コースHPのマンション形式を実現するために、3年にわたって検討し、H24.10.5に専科校友会HPを開設した。メリットはHP使用料が15000円から6000円になったこと。

●その検討課程の中で、専科コースから2年制への進学者が卒業したら校友会会員減少という問題があり、校友会の運営に支障をきたすことから、合同事業についても検討してきました。その成果として専科合同ハイキングクラブ、専科合同グラウンドゴルフクラブ等が誕生すると共に、過去には校友会の話し合いで経費を出し合っただけで音楽会等を開催することもあった。現在も1期校友会が実施している学習会などは専科合同として各期に呼びかけて少人数であるが参加してもらっている。専科合同グラウンドゴルフ及びハイキングは1期から6期まで参加している。

●この専科校友会HPの立上げ経過と専科合同事業のなれそめの2点について後輩の各期校友会の役員に伝えて理解していただくということから、専科校友会HP連絡会を開催することにした。4期生が卒業したのを機に第一回校友会及びHP連絡会を開催し、そこで上記の2点について説明したところ、合同事業については、各期校友会の形態も違うので参加者実費徴収型事業（個人参加）にはお互いに協力し合うことで話がまとまった。新たに校友会情報交換の場としての役割を加えて年一度開催することも決まった。これらのことについて、毎年、確認して連絡会を終えている。

●今日は6期校友会関係者及び3期校友会新役員の出席をいただいたので連絡会の開催趣旨の3点について説明し、ご理解をいただけたので開催の目的は達したと言える。

2、第3回連絡会で決まったこと。

●情報交換の場として連絡会を今後も続けることを確認した。

●合同事業は各期校友会の規模や会費も違うことから各期校友会会費を使っただけの合同事業は無理なので、参加者実費徴収型の事業で各期とも協力することを確認した。

●参加者実費徴収型合同事業案内は各期HPに掲載し会員に呼びかけることを確認した。

3、そのたの話題

●27年度から伊奈学園も制度改正に伴い、2年制と専科コースが廃止され、新たに1年制専攻課程（火・水曜日コース）設置されました。専科1期から6期までは2年制伊奈学園の中の1年制専科コースであったことから、専科を卒業されると2年制に進学者が半数以上いることから、進学者が卒業されると2年制校友会に軸足を置く人が多く、専科各期校友会は会員が減少し校友会活動をどう維持していくか四苦八苦している状況がある。（1期当初116名→6年後は58名と50%減、2期当初113名→5年後52名54%減、3期当初97名→4年後64名35%減、4期当初113名→3年後75名34%減）

また、校友会役員はほとんど順番制で役員が回ってくるが、順番が来ると退会する人も多く見上げられ、会員減少の大きな要因となっている。

●専科各期共通の課題は2年制入学者が卒業されると専科校友会会員の激変があること

から専科校友会連絡会を専科各期校友会役員の情報交換の場として、ここで協力できることは校友会活動の中に活かし1年でも長く校友会活動を続けられればと思っ
ている。専科1期は東京オリンピックを合言葉にそこまで続けたいと思っ
ていることや、2年制校友会も10年を区切りにして解散を目論んでいることを披瀝する。

●**ホームページについては**、伊奈学園及び校友会HPは会員への情報伝達の一手段として立ち上げているのであろうが

- ① 校友会HPを立ち上げている理由がはっきりしていない。在校生の時もそれを明確に言われた覚えもないし、HP講習会の時もしかり。
- ② 在校生の時はHP委員もすぐに会って話をするのができたが、卒業してしまうとばらばらになるのでHP委員もまとまりにくい。
- ③ HP委員のなり手がいないことや、アップは自分が最後まで引き受けざるを得ない状況になっている。
- ④ 専科1期から3期は専科校友会HP立上げに向けて真剣に良いHPを目指して頭を使ったが、年が経つにつれてマンネリ化したことは否めない。
- ⑤ HPにアップしたものがどれだけの会員に読まれているのか疑問に思えてならない。また、一方通行のHPよりも双方通行のブログ、フェイスブックが面白いと思っ
ている。
- ⑥ 伊奈学園及び校友会の情報伝達のメインはHPなので立ち上げ運用してからも進化させるようなフォローが必要ではないか。

※専科1期は⑤のHPにアップしたものが、パソコンを開いて「専科校友会1期HPを開いて、どれだけの会員に読まれているのか疑問に思えるので、各個人にメールを送れば否応なしに開くだろうから、メーリングリストを利用して毎月HP掲載情報を発行して読んでもらうように工夫している。

また、パソコンのない人には、HP掲載情報をベースに原稿を作り、年2回専科1期校友会だよりを発行している。というのは同じ会費をもらっているのだから、その人たちにも出来る限り情報をお届けすることが基本なので紙ベースによる「だより」の発行が始まった。

- ⑦ 会員と校友会を結ぶということでHPがあるにせよ、直接メールで結ぶことも大切で伊奈いきいきネットクラブのメーリングリスト利用することも大事。
- ⑧ 伊奈学園及び校友会はHPを情報伝達のメインとしていることから、紙ベースの「校友会だより」の発行が極端に少ない。県民活動センター1階の談話コーナーに各いきがい大学の「校友会だより」のファイル等がある。伊奈学園以外は各連協の
だよりや各期校友会だよりがボリュームたっぷりで活動状況を誰でも知ることが
できるが、それに引き換え、伊奈学園関係の貧弱さには驚く。
- ⑨ いずれにしても加齢するに従って原稿を書くことが辛くなってきており、HP掲載原稿も少なくなっていることは否めない。

4、今日の出席者8名

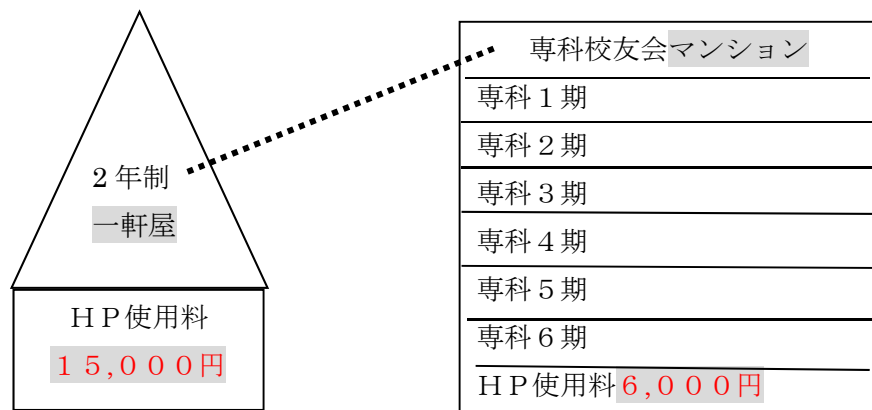
- 1期＝伊藤会長兼HP委員長、岡村広報部長
- 2期＝双田会長兼HP委員長
- 3期＝柳会長、竹内広報部長、森HP委員長
- 6期＝花形会長、加藤HP委員長

(記録: 専科校友会連絡会事務局専科一期校友会HP維持管理人 岡村)

2年制と専科コースが廃止されたことに伴い、専科コース最後の六期校友会会長とHP委員長に専科校友会HP開設経過等を説明しご理解をいただいたので、専科校友会HP連絡会は今回を最後とし、専科校友会連絡会は必要に応じ開催するものとする。

専科校友会HP開設経過

●専科校友会HPについては、私達が専科一期に入学しHP委員に選ばれ、8月の講習会に参加した時に、伊奈いきがいネットクラブの鈴木進さんより、専科校友会HPは、二年制HPとは違うマンション形式のHPで進めるとの指針が示された。鈴木さんのサポートを得ながら卒業後の1年目は自治会HPを校友会HPに切り替えるにあたって、レイアウトとボタンの精査を行い、現在の校友会HPに切替えた。



専科校友会の名称は2年制HPと区別するための名称にすぎない。

●次に伊奈ネットクラブ鈴木進さんの示された、マンション形式の専科校友会という一つのボタンを設置して、そこをクリックすると専科各期HPへつながるボタンのある専科校友会HPに取組んだ。専科2期生が卒業したことから2期生HP委員に加わっていただき、本格的に専科校友会HPにどんな内容を掲載するか、トップページのデザイン、ボタンの設置等を1年間かけて検討した。それから専科3期生も卒業したので3期HPにも加わっていただき、2年間の検討した結果として現在の専科校友会HPを開設するに至った。

現在は2期HP委員長の双田さんが維持管理をして、岡村が原稿収集のサポートをしている。

●専科校友会HP開設のメリットは、

①専科各期HP使用料が15000円から6000円になったこと。卒業時2年制の場合は15000円ですが、専科コースは卒業時から6000円で済むということ。

②代わり手のいないHP委員の負担を減らすという観点から伊奈連協、県連協、いきいき埼玉の行事は専科校友会HPに掲載して各期は省略しようと考えて設計していること。

③1期～3期のHP委員が検討する中で、専科コースは2年制に進学する人もいたので、その方たちが卒業すると専科校友会会員は減少せざるを得ないので、合同開催できる事業はスケールメリットを狙ったらどうかという話が出て、1期と2期で合同音楽会や講演会を実施し、合同ハイキングとグラウンドゴルフクラブができた。ここで専科合同事業が始まった。また、クラブに余裕があれば期を超えて（二期墨彩クラブに一期生が参加、一期の俳句やパソコンクラブに21期生が参加）参加可能としたことです。

④お互いに助け合うということで専科校友会HP開設の時に、年一回専科各期校友会HP委員長とアクセス者の会合を開くことのできることの取り決めをして、24、25、26年度と実施してきました。ここではHPでお互いにわからないことはサポートすることになっている。

⑤専科合同事業の案内は、各期HPに掲載して参加を呼び掛けている。



平成28年度専科一期の会



今年も東日本大震災で被災された方々を支援していきましょう

新制「専科一期の会」会長をお引き受けするにあたり

専科一期の会 会長 安藤 允 浩



此の度、会長をお引き受けするに至った経緯を記すことで、就任の挨拶に代えさせて戴きます。正直に言いますと、昨年今頃、一年後には校友会を辞めようと考えていました。大きな理由は、二つです。

●携わっているボランティア活動の関与で、校友会の行事になかなか参加できません。行事の開催通知を戴く度に、苦労して企画された理事の皆さんに申し訳ない思いながら、欠席の返事をするのは大変に心苦しいものがありました。

●既に末席理事を済した経験が有るとは言え、構成人員数から言っても関もなく理事役が回ってきます。例え、平理事であっても、過去の経験から言っても、理事会に単に出席するだけでさえ特に時間的な負担が大きく、ボランティア活動を始めとして現在、続けている色々な活動に大きな制約が生じてしまうことは明白です。

そんな中、昨年、郷土を知るコースの見学行事が行われた後の懇親会の席上、岡村さんから「来年度の校友会長は我がコースから出すという申し合わせになっている。については、1班から候補者を出して欲しい」との発言がありました。このことを受けて、全体の懇親会が終了後、私が所属する1班（7名）で対応を協議しました。皆さん全員が役員になった場合の負担の大きさについて懸念を述べられました。そこで、私は次の前提のもとに「校友会改革」について、三つの提案をしました。前提とは、郷土を知る・まちづくり・健康づくりの三コースそれぞれのコースごとの結束は固いということと、有難いことに岡村さんと言う「稀有な」存在により校友会全体としての広報活動は万全でありネットワーク上の心配は少ないという点です。

「校友会を改革するための三大原則」

- A: 「校友会」は、各コースを細く横に結ぶだけのユルユルの組織とする。
- B: 役員は、各コースから1名ずつを選び、計3名とする。また、今までの理事会のように年に何回も集まるまでの定例会議は設定しない。極論すれば1回も開催しなくて済むような会運営とする。
- C: 「校友会」として、全体行事は実施しない。ただし、各コースが年に一度だけ持ち回りで行事を企画し、他のコースにも呼びかけて実施することとする。その行事は、事前に出欠を取ったり、会費を集めたりすることせず、現地集合・解散、自費支払とする。

理事会でこの内容で議論して戴き、この趣旨が生かされた改革が為されたら、1班から会長候補を出そう、もし不可なら全員が退会しようという事で、話はまとまりました。かなり、大胆な提案でしたが、伊藤会長をはじめとする平成27年度の理事の皆さんの熱心かつ前向きな議論により、ほぼ趣旨を生かした成案が示されました。言い出しっぱなしでは、お引き受けせざるを得なくなり、今日に至っているという事です。

皆さんのご理解を戴き、「何もしない会長」、「同 副会長」、「同 会計」が一年間無事に務め終えられましたなら、少なくとも役員を引き受けるのが負担で「校友会」を抜ける方は居なくなると思います。また、同じ理由で、既に退会された方の中にも復帰してくださる方が居られるのではないかと期待しています。以上、通常の就任挨拶なら「頑張ってください一生懸命にやります、どうぞ、ご協力をお願いします」と宣言するところですが、「ユルユル、ラクラク」でやっていきますという型破りなご挨拶になりましたことをお許しください。



今年も東日本大震災で被災された方々を支援していきましょう

新年のご挨拶

専科一期の会 会長 久保田 圭子



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては良いお正月をお迎えになられたことと思います。昨年は自然災害の多い年でした。年々地球を取り巻く環境がおかしくなっているようで、我々の後の世代のためにも地球温暖化の防止に真剣に取り組まなくてはならないと感じます。そして我々シルバー世代はまず健康に気を配り、ボランティア活動を始め、各人の得意なフィールドで存分に能力を発揮して活躍されることを願っております。昨年の11月19日に、まちづくりコースの関利雄さんが「こしがや平和フォーラム2017」で講演をされました。「あなたに伝えたいこと～90歳を超えた兵士より～」という演題でした。ご自身の戦争体験を元に、戦争の悲惨さ、平和の尊さを戦争の知らない今を生きる人達に伝えたものです。94歳になってもなお要録として世のために貢献されている関さんの姿は、私達の誇りでもあり手本でもあります。

専科1期の会も新しい組織になってから2年が過ぎようとしています。この間ゆるゆるの組織運営は会員の間にすっかり浸透し、皆が負担なく気楽に行事に参加出来るようになりました。6月10日の健康コース企画の東村山市の北山公園菖蒲苑散策、10月18日の郷土を知るコース企画の市ヶ谷防衛省施設見学にも、沢山の会員の方々にご参加頂きました。残るまちづくりコースの企画は、1月24日(水)の川越の七福神巡りですので、皆様お誘いあわせの上奮ってご参加下さいませようお願い致します。

今年も皆様にとって健康で幸せな年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

29年度専科一期の会会員参加・年間事業案内(●実施済・下線クリック)

3月31日 ●第7回定期総会等大宮駅西口シーノ 議案書 総会まとめ	10月30日 ●まちづくりコース赤坂迎賓館(後日掲載)
4月14日 ●専科合同グラウンドゴルフ部総会	11月10日 ●第8回ボランティア活動発表会 NEW!!
6月01日 ●29年度専科一期の会だより第1号	12月04日 ●健康コースクラス会 NEW!!
6月10日 ●健康コース企画事業	12月20日 ●第2回公開学習会大宮パナソニック
7月12日 ●第1回公開学習会大宮ソニック	1月01日 ●29年度校友会だより第2号発行 NEW!!
7月23～24日 ●専科合同グラウンドゴルフ部夏合宿 NEW!!	1月24日 ●まちづくりコース企画事業報告 NEW!!
9月04日 ●健康コースクラス会 NEW!!	1月30-2/3日 ●第23回合同墨彩画展 NEW!!
9月05日 ●郷土の会クラス会 神道無念流戸賀崎練武道場遺跡と 「恵文館」訪問 久喜市 NEW!!	2月23日 ●専科合同グラウンドゴルフ部第6回月例会
9月15日 ●まちづくりコースクラス会「造幣局改いたま支局博物館 と工場見学」 NEW!!	3月6日 ●役員会大宮駅西口シーノ NEW!!
10月18日 ●郷土の会企画事業「防衛庁見学」 NEW!!	3月11日 ●郷土の会クラス会 NEW!!
	4月10日 第8回定期総会等大宮駅西口シーノ NEW!!

★一期の会	★その他・新着情報
◇30校友会ニュース3月号 (H30.4.1) NEW!!	◇ボランティアニュース47号 (H29.12.20)
◇郷土コースクラス会 (H30.3.11) NEW!!	◇ボランティアニュース46号 (H29.9.23)
◇役員会 (H30.3.6) NEW!!	◇ボランティアニュース45号 (H29.6.1)
◇30校友会ニュース2月号 (H30.3.1)	◇ボランティア活動団体名簿(手話ダンス同好会登録)平成29年1月改訂版
◇30校友会ニュース1月号(H30.2.1)	◇ボランティアニュース44号 (H28.12.19)
◇第8回定期総会等大宮駅西口シーノ(H30.1.27)	◇葛川さん達の活動している童夢21の活動
◇まちづくりコース企画事業報告(H30.1.24)	
◇役員会大宮駅西口シーノ(H30.1.15)	
◇校友会ニュース12月号 (H29.12.30)	
◇29一期の会会報第2号 (H29.12.28)	
◇健康コースクラス会 (H29.12.4)	
◇29校友会ニュース1月号 (H29.12.1)	
◇まちづくりコース担当企画事業 (H29.11.3)	
◇29校友会ニュース10月号 (H29.11.1)	
◇郷土コース担当企画事業実施報告 (H29.10.18)	
◇29校友会ニュース9月号 (H29.10.1)	
◇まちづくりコースクラス会 (H29.9.15)	
◇郷土の会交流会 (H29.9.5)	
◇健康づくりコース総報会 (H29.9.4)	
◇29校友会ニュース8月号 (H29.9.1)	
◇29校友会ニュース7月号 (H29.8.1)	
◇29校友会ニュース6月号 (H29.7.1)	
◇健康コース担当企画事業実施報告 (H29.6.11)	
◇29校友会ニュース5月号 (H29.6.1)	
◇29年度専科一期の会だより第1号 (H29.6.1)	
◇健康コース企画事業 (6/10)	
◇29校友会ニュース4月号 (H29.5.1)	
◇29校友会ニュース3月号 (H29.4.5)	
◇第7回定期総会議案書 総会報告 (H29.3.31)	
◇専科一期の会総会案内 (H29.3.2)	
◇29校友会ニュース2月号 (H29.3.2)	
◇役員会 (H29.2.21)	
◇29校友会ニュース1月号 (H29.1.31)	
◇28年度専科1期の会企画事業報告 (H29.1.28)	
◇郷土コース担当企画事業2 (H29.1.28)	
◇郷土コース担当企画事業1 (H29.1.18)	
◇28年度校友会だより第2号発行 (H29.1.1)	
◇28校友会ニュース12月号 (H28.12.31)	
◇29年度会員継続のお願い (H28.12.25)	
◇28校友会ニュース11月号 (H28.12.1)	
◇第4回専科校友会グラウンドゴルフ大会 (H29.1.13)	
◇28年度健康コース担当企画事業実施報告 (H28.11.6)	
◇28校友会ニュース10月号 (H28.11.1)	
◇28校友会ニュース9月号 (H28.10.1)	
◇御岳渓谷歩道ウォーキング (H28.9.20)	
◇28校友会ニュース8月号 (H28.9.1)	
★みんなの広場	
◇健康麻雀は楽しい! (H30.4.1) NEW!!	◇ボランティアニュース47号 (H29.12.20)
◇山想う我が青春を俳句で綴る3月(H30.4.1) NEW!!	◇ボランティアニュース46号 (H29.9.23)
◇俳句で綴るウォーキング風景2月(H29.4.1) NEW!!	◇ボランティアニュース45号 (H29.6.1)
	◇ボランティア活動団体名簿(手話ダンス同好会登録)平成29年1月改訂版
	◇ボランティアニュース44号 (H28.12.19)
	◇葛川さん達の活動している童夢21の活動
★クラブ活動	
◇手話ダンスだより88号(H30.3.24) NEW!!	◇専科合同グラウンドゴルフ部第7回月例会(H30.3.23) NEW!!
◇専科合同グラウンドゴルフ部第7回月例会(H30.3.23) NEW!!	◇手話ダンスだより87号(H30.3.24) NEW!!
◇手話ダンスだより87号(H30.3.24) NEW!!	◇手話ダンスだより86号(H30.3.6) NEW!!
◇手話ダンスだより86号(H30.3.6) NEW!!	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告94号(H30.3.4) NEW!!
◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告94号(H30.3.4) NEW!!	◇専科合同グラウンドゴルフ部第6回月例会(H30.3.9) NEW!!
◇専科合同グラウンドゴルフ部第6回月例会(H30.3.9) NEW!!	◇俳句「遊」クラブ活動報告88号(H30.2.21) NEW!!
◇俳句「遊」クラブ活動報告88号(H30.2.21) NEW!!	◇手話ダンスだより85号(H30.2.7) NEW!!
◇手話ダンスだより85号(H30.2.7) NEW!!	◇21期作品展・専科一期卒業生の作品(H30.2.6) NEW!!
◇21期作品展・専科一期卒業生の作品(H30.2.6) NEW!!	◇第23回合同撮影画展(H30.1.31) NEW!!
◇第23回合同撮影画展(H30.1.31) NEW!!	◇俳句「遊」クラブ活動報告87号(H30.1.16) NEW!!
◇俳句「遊」クラブ活動報告87号(H30.1.16) NEW!!	◇手話ダンスだより84号(H30.1.9) NEW!!
◇手話ダンスだより84号(H30.1.9) NEW!!	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告93号(H29.12.22)
◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告93号(H29.12.22)	◇俳句「遊」クラブ活動報告86号(H29.12.20)
◇俳句「遊」クラブ活動報告86号(H29.12.20)	◇卓球部コトピアで打ち上げ(H29.12.18)
◇卓球部コトピアで打ち上げ(H29.12.18)	◇はくつるの会ハイキング(H29.12.16)
◇はくつるの会ハイキング(H29.12.16)	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告92号(H29.11.28)
◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告92号(H29.11.28)	◇専科合同グラウンドゴルフ部第5回月例会(H29.11.24)
◇専科合同グラウンドゴルフ部第5回月例会(H29.11.24)	◇手話ダンスだより83号(H29.11.25)
◇手話ダンスだより83号(H29.11.25)	◇俳句「遊」クラブ活動報告85号(H29.11.21)
◇俳句「遊」クラブ活動報告85号(H29.11.21)	◇手話ダンスだより82号(H29.11.9)
◇手話ダンスだより82号(H29.11.9)	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告91号(H29.10.30)
◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告91号(H29.10.30)	◇俳句「遊」クラブ活動報告84号(H29.10.25)
◇俳句「遊」クラブ活動報告84号(H29.10.25)	◇手話ダンスだより81号(H29.10.12)
◇手話ダンスだより81号(H29.10.12)	◇専科合同グラウンドゴルフ部第4回月例会(H29.9.22)
◇専科合同グラウンドゴルフ部第4回月例会(H29.9.22)	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告90号(H29.9.26)
◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告90号(H29.9.26)	◇俳句「遊」クラブ活動報告83号(H29.9.22)
◇俳句「遊」クラブ活動報告83号(H29.9.22)	◇手話ダンスだより80号(H29.9.16)
◇手話ダンスだより80号(H29.9.16)	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告89号(H29.8.27)
◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告89号(H29.8.27)	◇俳句「遊」クラブ活動報告82号(H29.8.15)
◇俳句「遊」クラブ活動報告82号(H29.8.15)	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告88号(H29.8.7)
◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告88号(H29.8.7)	◇専科合同グラウンドゴルフ部第4回合宿旅行(H29.7.26)
◇専科合同グラウンドゴルフ部第4回合宿旅行(H29.7.26)	◇俳句「遊」クラブ活動報告81号(H29.7.18)
◇俳句「遊」クラブ活動報告81号(H29.7.18)	◇手話ダンスだより79号(H29.7.11)
◇手話ダンスだより79号(H29.7.11)	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告87号(H29.7.9)
◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告87号(H29.7.9)	◇専科合同グラウンドゴルフ部第2回月例会(H29.6.23)
◇専科合同グラウンドゴルフ部第2回月例会(H29.6.23)	



今年も東日本大震災で被災された方々を支援していきましょう

新年のご挨拶



専科一期の会 会長 堀 恒雄

あけましておめでとうございます。会員の皆様には穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

★昨年の世相を表す漢字に「災」が選ばれました。昨年の自然災害は7月の西日本-北海道豪雨そして4月-9月の島根県西部、大阪北部、北海道日胆振で甚大な被害が続出しました。防災グッズの整備や最新の災害情報に注視する必要があります。災害救助に行った隊員の話では“一番大切な事は災害時の迅速な対応です。また夜中の震災が大変危険で、枕元に懐中電灯、靴、防寒着の常備が必須です”と強調されました。

★校友会活動ですが安藤前々会長の組織の大幅改革、久保田前会長のルール定着化で役員の負担は大幅に低減し活動は大変スムーズに行うことが出来ました。企画事業については6月に健康コース主催の深大寺

を訪ねて(14名参加)、9月にまちコース主催の柴又帝釈天散策(9名参加)を実施しました。皆さんコースを超えて友好を深めたと思います。今回参加した何人かの会員の方から“女性参加がもっと増えると楽しくなる”との感想が寄せられました。今後企画時に考慮にしてはと思います。

★クラス会では健康コースは暑気払と妻沼聖天山見学、まちコースは藤宿散策、郷土コースは葛西臨海公園散策を実施しました。クラブ活動では「遊」クラブは吟行8回、「ゆめ」クラブは吟行8回、手話ダンス同好会は施設ボランティア5回と活発に活動されました。(11月末現在)その他、有志の皆さんが伊奈町秋期グラウンドゴルフ大会町長杯や関利雄さん「太平洋戦争体験記」を語る会に参加されています。

★今後の活動予定ですが企画事業は郷土コース主催で3月1日に結城緋見学を予定しています。多くの皆様の参加を期待致します。またクラス会は郷土コースが鉄道博物館と河津桜花見会を予定しております。終わりになりますが今年が新年号、元年の年です。新時代を迎え心身を新たに、皆様が健康で穏やかなそして実りのある年になる事を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

役員紹介

30年度専科一期の会会員参加・年間事業案内(●実施済・下線クリック)

4月10日 ●第8回定期総会等大宮駅西口シーノ 議案書 総会報告	11月26日 ●まちづくりコースクラス会
4月27日 ●専科合同グラウンドゴルフ部総会	11月09日 ●第9回ボランティア活動発表会 ●ボランティアニュース50号
6月01日 ●30年度専科一期の会だより第1号	12月13日 ●第2回公開学習会大宮パナソニック
6月01日 ●健康コース企画事業	1月01日 ●30年度校友会だより第2号発行
6月19日 ●第1回公開学習会大宮ソニック	1月23日 ●郷土の会クラス会
7月22～23日 ●専科合同グラウンドゴルフ部夏合宿	★2月合同墨彩画展会場確保できず4月に変更
8月03日 ●健康コースクラス会	3月02日 ●郷土コース企画事業報告 NEW!!
9月11日 ●郷土の会クラス会	3月5日(火) ●役員会大宮駅西口シーノ講座室 NEW!!
10月22日 ●まちづくりコース企画事業報告 俳句	3月12日 ●郷土の会クラス会 NEW!!
11月2日 ●健康コースクラス会	4月10日 ●第9回定期総会等大宮駅西口シーノ 議案書 総会報告 NEW!!

★一期の会	★その他・新着情報
◇郷土の会クラス会(H31.3.12) NEW!!	◇ボランティアニュース50号(H30.12.1) NEW!!
◇役員会大宮駅西口シーノ講座室(H31.3.5) NEW!!	◇ボランティアニュース49号(H30.10.1)
◇郷土コース企画事業(H31.3.3) NEW!!	◇ボランティアニュース48号(H30.6.1)
◇81校友会ニュース2月(H31.3.1) NEW!!	◇ボランティアニュース47号(H29.12.20)
◇郷土コース企画事業(H31.2.5) NEW!!	◇ボランティアニュース46号(H29.9.23)
◇81校友会ニュース1月(H31.2.2) NEW!!	◇ボランティアニュース45号(H29.6.1)
◇郷土の会クラス会(H31.1.23)	◇ボランティア活動団体名簿(手話ダンス同好会登録) 平成29年1月改訂版
◇30年度専科一期の会だより第2号(H30.12.28)	◇芭川さん達の活動している童夢21の活動
◇30校友会ニュース12月(H30.12.28)	
◇郷土の会クラス会(H30.12.15)	
◇30校友会ニュース11月(H30.12.1)	
◇まちづくりコースクラス会(H30.11.26)	
◇健康コースクラス会(H30.11.2)	
◇30校友会ニュース10月号(H30.11.1)	
◇まちづくりコース企画事業(H30.10.23) 俳句	
◇30校友会ニュース9月号(H30.10.7)	
◇郷土の会クラス会(H30.9.11)	
◇まちづくりコース企画事業(H30.10.22)	
◇30校友会ニュース8月号(H30.9.3)	
◇健康コース暑気払い(H30.8.3)	
◇30校友会ニュース7月号(H30.8.1)	
◇葛西臨海公園郷土の会クラス会(H30.7.18)	
◇30校友会ニュース6月号(H30.7.1)	
◇健康コース企画事業H30.6.1)	
◇30年度専科一期の会だより第1号(H30.6.1)	
◇30校友会ニュース5月号(H30.6.1)	
◇30校友会ニュース4月号(H30.5.1)	
◇健康コース企画事業(H30.4.27)	
◇第8回定期総会議案書 総会報告(H30.4.10)	
◇30校友会ニュース3月号(H30.4.1)	
◇郷土コースクラス会(H30.3.11)	
◇役員会(H30.3.6)	
◇30校友会ニュース2月号(H30.3.1)	
◇30校友会ニュース1月号(H30.2.1)	
◇第8回定期総会等大宮駅西口シーノ(H30.1.27)	
◇まちづくりコース企画事業報告(H30.1.24)	
◇役員会大宮駅西口シーノ(H30.1.15)	
★みんなの広場	★クラブ活動
◇亡き友を偲んで15年(H31.3.7) NEW!!	◇俳句「遊」クラブ活動報告100号(H31.3.19) NEW!!
◇俳句で綴るウォーキング風景33(H31.3.7) NEW!!	◇手話ダンスだより94号(H31.3.19) NEW!!
◇私は一人ぼっち(H31.3.7) NEW!!	◇卓球クラブ10年間ありがとうの巻(1) 1.1.1(H31.3.18) NEW!!
◇俳句で綴るウォーキング風景32(H31.2.5) NEW!!	◇伊奈学園専科1期卓球クラブ(伊奈専卓)旅の思い出 NEW!!
◇年賀状も船を重ねてお雑煮を知る(H31.2.2) NEW!!	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告105号(H31.3.2) NEW!!
◇4位の花は破られたか?(H31.2.1) NEW!!	◇俳句「遊」クラブ活動報告99号(H31.2.24)
◇筑山へ6年山行(H31.1.14)	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告105号(H31.2.2)
◇日本の曲がり角(H31.1.10)	◇俳句「遊」クラブ活動報告98号(H31.1.15)
◇俳句で綴るウォーキング風景31(H31.1.3)	◇俳句「遊」クラブ活動報告97号(H30.12.22)
◇心づいてクラブ長後の新年に参加(H31.1.3)	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告104号(H30.12.21)
	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告103号(H30.12.1)
	◇俳句「遊」クラブ活動報告96号(H30.11.24)
	◇専科合同グラウンドゴルフ部伊奈町春季大会参加(H30.11.10)
	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告102号(H30.10.28)
	◇俳句「遊」クラブ活動報告95号(H30.10.17)
	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告101号(H30.10.7)
	◇俳句「遊」クラブ活動報告94号(H30.9.20)
	◇手話ダンスだより93号(H30.9.15)
	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告100号(H30.9.1)
	◇俳句「遊」クラブ活動報告93号(H30.8.22)
	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告99号(H30.8.9)
	◇専科合同グラウンドゴルフ部尾瀬合宿(H30.7.25)
	◇俳句「遊」クラブ活動報告92号(H30.7.19)
	◇手話ダンスだより92号(H30.7.6)
	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告98号(H30.6.30)
	◇俳句「遊」クラブ活動報告91号(H30.6.23)
	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告97号(H30.6.1)
	◇手話ダンスだより91号(H30.6.5)
	◇俳句「遊」クラブ活動報告90号(H30.5.17)
	◇専科合同グラウンドゴルフ部伊奈町春季大会参加(H30.5.16)
	◇手話ダンスだより90号(H30.5.8)
	◇専科合同グラウンドゴルフ部総会と月例会(H30.4.29)
	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告96号(H30.4.29)
	◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告95号(H30.4.29)



専科HP

平成31年度専科一期の会



今年も東日本大震災で被災された方々を支援していきましょう

新年のご挨拶

専科一期の会 会長 野村 侃滋



あけましておめでとうございます。会員の皆様には穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年の年頭の挨拶に災害の記載がありました。残念ながら昨年同様災害の多さを記憶のためにも今年も記載せざるをえません。大きな被害は洪水が3件、地震が6件と昨年よりまた増加しています。豪雨は数、降雨量とも異常な記録をもたらしました。異常気象が原因で災害が増大していると言わざるをえません。加えて首都直下マグニチュード7レベルの地震が30年以内の発生確率70%という予測のなか、予兆ともいわれる揺れがちよくちよく起こっています。自分を守る「本当の自覚」が求められています。

★自然の厳しさが続くであろう今年は、オリンピックを迎えます。「専科1期卒業10年・オリンピックまでは」の強い思いで校友会活動を継続してきました。皆さまの中には競技観覧チケットに応募された方もおられるかと思いますが、どんな形であれ元気にこの祭典を迎えたいものです。校友会活動も年初の計画通り皆様のご協力を得て順調にこなしてきたかなと思っています。ボランティア活動やクラブ活動も継続されています。活動の記録は「いきがい大学のホームページ」に広報担当の岡村さんのおかげで見ることができます。久しぶりにアーカイブを開きましたが、いろいろな事業活動への参加者数の減少に気が付きました。今年の投稿でもボランティア活動報告会への参加者の減少を嘆かれています。体の衰えは仕方ありませんが、活動へ関心を持ち、興味ある活動への参加が精神面、体力面に活性化をもたらします。

★私事ですが、昨年7月～11月まで以前からの腰椎狭窄症による神経痛が足に出て10mも歩くことができないう状態を経験しました。このため皆様の企画された活動に参加できず会長の役目を全く果たしていません。申し訳ない気持ちと自分にはがゆい気持ちが交錯しています。医者に行くことはもちろんですが、体験者の情報や本からの知識によるストレッチ体操などのおかげで、腰痛は少し残っていますがやっと歩くことができるようになりました。皆様にも健康が第一を基本に自愛と体調維持の努力をされることを希望するとともに、入学当時の情熱を思い出し校友会活動へのより多くの参加を期待します。今年度事業としては、校友会企画3/8「大谷石採掘場跡見学」、郷土の会オープンクラス3/31「久喜での観桜会」が計画されています。多くの参加者を希望します。

★校友会活動の一つの目標であった「オリンピックまで」の節目を迎え、「専科1期の12年の歩み」の発行を控え、目標達成後は校友会継続かどうかの決断することになります。活発なご意見を承りたく希望します。最後になりましたが、皆様にはオリンピックの年を健康で充実した年になりますよう祈念し新年の挨拶とします。

役員紹介

●令和2年度専科1期の会HP



今年も東日本大震災で被災された方々を支援していきましょう

就任のご挨拶

専科一期の会会長 瀧澤 正高



会員の皆様には昨今の厳しい情勢の中、如何お過ごしですか。

★世界に蔓延した新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の急落で株式市場は大幅な値下がりを行っています。国内では一斉休校やイベントの自粛要請で経済に深刻な影響を及ぼしています。温暖化による気象状況の悪化も台風の強大化、豪雨災害は毎年発生しています。私たちの住む環境は年々厳しくなっていて、早急に手を打たなければ手遅れになりそうです。スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさん（17歳）のような若い人が声を上げて環境問題の解決を訴えています。一人一人が環境問題に関心を持つことが必要と思います。子や孫世代に先送りをしてはイケないと思います。

★今年は東京オリンピック開催の年ですが、新型コロナウイルスの感染拡大で無事に開催されるか、心配になって来ました。新型肺炎の早期、終息を祈ります。彩の国いきがい大学がこの春生まれ変わります。「埼玉未来大学」になります。他の校友会が解散するなか、専科1期は荒波にも負けず、継続出来たことは皆様のご協力と広報担当の岡村さんご尽力のおかげと思っています。活動の記録は「専科1期の会ホームページ」を見れば各行事、ボランティア活動、クラブ活動の内容が見られます。他の校友会ホームページより内容が充実しています。

★私事ですが、18年前に心臓手術（弁置換）で九死に一生を得て、2年前に介護ストレスで胃潰瘍を起こして1リットル出血して重度貧血で20日間入院し、2度の危機を乗り越えました。今年の1月に腰部脊柱管狭窄症と診断され現在も治療中です。皆様にご迷惑をお掛けしています。母（96歳）は認知症で特別養護老人ホームに入所し、父（96歳）は圧迫骨折と腎機能低下で入院中です。古稀の老老介護で何とか耐えています。このような状況の私ですが、大森さんはじめまちづくりの皆さんのご支援をいただきながら会長の責務を果たして行きたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

★校友会活動の目標であった今年の東京オリンピックまで継続し、「専科1期の会12年間にわたる踏み跡」を発刊する為、最後に会員の皆様に思い出を書いて頂きます。その節は宜しくお願い致します。最後になりましたが、皆様の健康とご活躍をお祈りいたします。

2020年度専科一期の会会員参加・年間事業案内 ●2019年度実施分●実施済・下線クリック

5月27日● <u>コロナ関係情報（2/17～5/27）</u>	1月1日● <u>2019年度専科一期の会会報第2号発行</u>
6月1日● <u>2020年度専科一期の会会報第1号発行</u>	1月6日● <u>郷土の会オープン事業谷中七福神めぐり</u>
7月2日● <u>6月分コロナ情報</u>	3月3日● <u>役員会県民活動センター</u>
8月1日● <u>7月分コロナ情報</u>	3月7日× <u>郷土企画大谷石資料館等コロナウイルス感染防止のため中止</u>
9月1日● <u>8月分コロナ情報</u>	3月31日× <u>郷土の会オープン青毛堀花見会コロナウイルス感染防止のため中止</u>
9月4日● <u>役員会報告</u>	4月3日× <u>第10回定期総会等大宮シーノコロナウイルス感染防止の為中止・書面総会に変更</u>
10月6日● <u>9月分コロナ情報</u>	11月3日● <u>10月分コロナ情報</u>

